

# 泌尿生殖器系結核ノ臨床的統計

## 第1編 腎臟及ビ膀胱結核

金澤醫科大學皮膚科泌尿器科教室(主任伊藤教授)

大 桑 德 治

(昭和12年5月18日受附 特別掲載)

### 目 次

1. 緒 言	ロ. 觸 診
2. 類 度	11. 膀胱結核ノ症状
3. 年 齡	イ. 尿意頻數
4. 性 別	ロ. 排 尿 痛
5. 職 業 別	ハ. 膀胱容量
6. 罹 患 側	ニ. 初診時ノ尿中結核菌ノ有無
7. 合 併 症	ホ. 膿尿, 膿血尿
8. 初發徴候	12. 膀胱ノ結核性病變
9. 發病ヨリ診斷マデノ期間	13. 摘出腎ニ就テ
10. 腎臟結核ノ症状	14. 總括及ビ結論
イ. 腎臟部疼痛及ビ腰痛	15. 主要文獻

### 1. 緒 言

腎臟及ビ膀胱結核ニ對スル檢索ハ、ソノ症例ニ乏シカラザルガ爲メ、臨床上ニ於ケル本疾患ノ診斷治療ニ關スル報告モ亦尠カラズ。殊ニ1877年 Max-Nitze 氏ニ依リ、膀胱鏡ノ考案セラレシ以來種々ノ改良ト進歩ヲ遂ゲ、「レントゲン」線「ピエログラフイー」ノ應用ニ依リ腎臟及ビ膀胱結核ニ關スル診斷モ、從來トハ遙カニ的確、然モ簡明トナリ從テ治療ノ方針モ容易ニ確定スルコトヲ得テ、ソノ豫後モ亦極メテ良好トナレリ。

然ノミナラズ、コノ疾患ニ對スル病理ニ關シテモ動物實驗等ノ施行セラレ、ソノ結果モ相續イテ公表セラレタルヲ以テ、文獻ニ乏シカラズ。然レドモ泌尿器系統一般ニ涉リテ統計的ニ觀察セラレタルモノ比較的稀ナリトス。

著者ハ昭和2年ヨリ同11年ニ至ル10ケ年間ノ金澤醫科大學皮膚科泌尿器科教室ニ於ケル外來患者中腎臟及ビ膀胱結核ヲ有スルモノ223名ニ就キ、年齢、性別、患側別、初發徴候、初發時期、合併症、ソノ他臨床的の症状ヲ仔細ニ研索シテコレヲ統計的ニ報告セムトスルナリ。

然モ元來膀胱ニ原發スル結核ハ極メテ稀有ノモノニシテ、ソノ大部分、或ハソノ全部ハ結核菌尿ノ下流スルガ爲メニ續發スルモノナルガ故ニ、以下主トシテ腎臟結核ニ就キ詳細ニ觀察シテコレヲ統計的ニ記載セリ。

## 2. 頻 度

腎臟結核ハシカク稀有ナル疾患ニアラズシテ、日常屢々遭遇スルモノナルモ、然モノノ割合ニ就キテハ各報告者ニ依リテ差異アリ。

Chamber, Morris, Hilden-Browul, 氏等ハ剖檢例5338體中ニ約2.95%ノ腎臟結核アリト云ヒ、Küster 氏(1902)ハ結核患者ノ10.0%ニコレヲ發見スルト云フ。Hobbs 氏ハ結核屍體ノ16.2%ニ Forsell 氏ハ慢性結核患者9784例ノ剖檢例中4.4%ニ Fischer u. Kelley 氏ハ肺結核患者ノ50.—70.0%ニ、阿久津氏(1906)ハ順天堂ノ患者1000人中20人ノ割合ニ腎臟結核患者アリト云ヒ、Cunningham 氏(1909)ハ肺結核患者ノ825剖檢例中80.0%ニアリト云ヒ、Fischer 氏(1909)ノ統計ニ依ルトキハ肺結核患者ノ剖檢例ノ53.0%ニハ腎臟中ニ結核結節ヲ發見シ、慢性腎臟結核ハ37.0%ノ多數ニ證明セラルト稱ス。

Schlessinger 氏(1913)ハ6年間ノ「ベルン」大學ノ病理解剖2345例中肺結核ハ2.07%ナルモ腎臟結核ハ5.3%アリト記述セラル。

高木氏(1923)ハ結核屍體100例中50.0%ニ、Kümmell 氏(1923)ハ4062屍體中119例ニ0.5%ニ、Heidrich 氏(1924)ハ全剖檢例中ノ3—5%ニ腎臟結核ヲ證明スト云ヒ、廣瀨氏(1927)ハ東大泌尿器科患者ノ9.66%ハ腎臟結核ナリト報告シ、北川、岡部氏ハ9ケ年間ノ慶大泌尿器科患者11200名中腎臟結核患者466例ニ4.16%ニコレヲ認メ、志賀氏ハ北大泌尿器科4ケ年間ノ泌尿器科患者1387名中腎臟結核患者170例ニ12.2%ノ割合ナリト記載セリ。余ハ最近10ケ年間ノ金澤醫大泌尿器科外來患者4056名中ニ223例ニ5.4%ニ腎臟結核患者ヲ證明セリ。然レドモ以上ノ如ク腎臟結核例ハ各々報告者ニ依リ種々ト異リタル統計數ヲ呈示シ居ルガ如キモ、コレ即チ臨床例ト剖檢例ノ相異、或ハ内科的ニ診斷セルトキト、泌尿器科的ニ觀察セル時トノ差異モアリ、或ハ又地方的ニモ多少ノ變化アルモノト推セラル、ナリ。以上各報告例ヲ一括シテ各條件ニ依リ分類表示スルトキハ、第1表ノ如ク結核患者ノ剖檢例、肺結核患者及ビ泌尿器患者臨床例ニ於ケル腎臟結核ノ割合ガ比較的大ナルヲ知ラル、ナリ。殊ニ泌尿器患者中ノ症例率ハ又各臨床家ニ依リテ異ルモ、尙且ツ泌尿器科患者中相當大ナル比率ヲ有ス

第1表 腎臟結核ノ頻度 (志賀氏ニ依ル)

1) 一般剖檢例中ノ腎臟結核	
Chamber	2.95% (5338例中)
Schlessinger	5.3% (2345例中)
Kümmell	0.5% (4062例中)
Heidrich	3—5%
2) 結核患者剖檢例中ノ腎臟結核	
Hobbs	16.2%
Forsell	4.4% (9784例中)
3) 肺結核患者中ノ腎臟結核	
Fischer u. Kelly	50—70%
Cunningham	80% (825例中)
Fischer	53%
高木	50%
Küster	10%
4) 泌尿器患者中ノ腎臟結核	
阿久津	2%
廣瀨	9.66%
志賀	12.2% (1387例中)
北川、岡部	4.16% (11200例中)
大桑	5.4% (4056例中)

ルモノナルコトヲ知ルナリ。

### 3. 年 齡

腎臟結核ハ他ノ結核性疾患ト同様ニ10年以下ニ於テハ、甚ダ僅少ニシテ幼少者ヨリ思春期ニ近ヅクニ從ヒ、漸次發病數ヲ増加シ21—30年代ノ青年期ニ最モ多ク發病シ、40年代ノ壯年期ニ及ンデ次第ニ減少ス。ソレ以上ノ老年期ニ向フニ從ヒ又ソノ數ヲ減ズルノ事實ハ諸家ノ所說ノ一致スル所ニシテ、余ノ過去10年間ニ於ケル統計ニ於テモ、ソノ總數 223 例中 1—10 年ハ 2 例 = 0.9%, 11—20 年ハ 37 例 = 16.6%, 21—30 年, 100 例 = 44.9%, 31—40 年ハ 60 例 = 26.9%, 41—50 年ハ 18 例 = 8.1%, 51—60 年ハ 3 例 = 1.3%, 61—70 年ハ 3 例 = 1.3% ヲ示シ即チ志賀氏及ビ北川、岡部氏ノ報告ニ依ルモノト甚ダ近似セル成績ヲ示セリ。

茲ニ於テ志賀氏ニ依リテ錄セラレタル先人諸家ノ報告例ノ總數ト比較スルニ全例 5256 例中 1—10 年ノモノ 52 例 = 1%, 11—20 年, 696 例 = 13.2%, 21—30 年ハ 2093 例 = 39.7%, 31—40 年, 1450 例 = 27.5%, 41—50 年ニ於テ 668 例 = 12.7%, 51—60 年 = 236 例 = 4.5%, 61—70 年 = 71 例 = 1.3% ニシテ即チ諸家ノ統計ト余ノ實驗例トヲ比較スルニ、腎臟結核ハ幼少時ニ發生スルコト比較的僅少ニシテ、青年期ニ近ヅクニ從ヒ急増シテ青、壯年期、即チ發育完成期ニソノ罹患率ハ最多トナリ、壯年期ヨリ老年期ニ涉リテ漸減スルノ事實ハ一致セルヲ知ルナリ。(第 2 表)

然リト雖モ腎臟結核ハ10年以下ノ幼年者ハ極メテ稀ナリトセラレ諸家ノ統計モ亦コレヲ裏書スルモ、然モ剖檢例ニ依ルトキハ臨床的經驗ヨリモ遙カニ多ク存在セルヲ見ルト稱セリ(佐谷、瀧川氏)。余ハ10年以下ノモノ僅カニ 2 例ヲ有シ何レモ 8 年ノ男子ナリ。Lilliet 氏及ビ Barthez 氏ハ 312 例ノ小兒屍體中 15.7% ノ腎臟結核ヲ認メ、柏林大學病理學教室ニ於テ 126 例中 13 例 = 1.0% ノ小兒腎臟結核ヲ證明セリ。Thrumpp 氏ハ 8 年ノ女兒ガ重症泌尿器系結核ノ爲メニ死亡セル例ヲ報告シ、Frank 氏ハ 6 年ノ小兒ニ腎癆ヲ認メタリト。

Leedhom, Green 氏ハ若シ患兒ノ尿ヲ顯微鏡的ニ檢査シ、結核菌ヲ檢索シ且ツ動物試驗ヲ施行セムカ、從來ヨリモ遙カニ多數ノ幼少者ノ腎臟結核ヲ證明セラル、ナラムト言明セリ。然レドモ事實臨床上ニ於テ腎臟結核ヲ見ルコトハ稀ナリト雖モ、幼年者及ビ若年者ニ於ケル腎臟結核ノ數ハ統計ニ表ハレタル數ヨリ確カニ多數ナルベシト推定スルヲ得ベシ。

第 2 表 腎臟結核患者ノ年齡別 (志賀氏ニ依ル)

年 齡 報告者		1—10j	11—20j	21—30j	31—40j	41—50j	51—60j	61—70j
		♂	0	7	49	13	1	1
♀	0	3	7	8	2	0	0	
計	0	10	56	21	3	1	0	
%	0	11	61.5	23.1	3.3	1.1	0	

Waldschmidt (1912)	剖 檢 例	3 % 2.5	10 8.4	33 27.7	21 26.0	25 21.0	9 7.6	7 5.8
	臨 床 例	1 % 0.9	12 10.9	41 37.3	33 30.0	19 17.3	4 3.6	0 0
Wildbolz (1913)	自 家 例	0 % 0.	17 6.9	112 45.7	71 28.9	29 11.8	10 4.1	6 2.5
	蒐 集 例	4 % 1.3	32 10.1	129 40.8	95 30.0	26 8.2	25 7.9	5 1.6
Küster (1902)	症 例	10 % 3.0	40 12.0	119 35.6	118 35.3	38 11.4	6 1.8	3 0.8
阿 久 雄 (1906)	♂	0	5	35	20	3	0	0
	♀	0	16	39	15	15	0	0
	計	0	21	74	35	18	0	0
	%	0	14.3	50.9	22.7	12.2	0	0
廣 瀬 (1917)	♂	0	18	58	24	11	1	0
	♀	1	4	7	9	5	0	0
	計	1	22	65	33	16	1	0
	%	0.8	13.4	47.0	23.9	12.2	0.8	0
森 田 (1921)	症 例	1 % 0.9	25 23.8	42 40.0	22 21.0	12 11.4	3 2.9	0 0
Galo (1921)	症 例	0 % 0	0 0	30 19.3	53 34.0	46 29.6	21 13.5	6 3.9
高 木 谷 野 (1924)	♂	0	10	42	40	7	4	1
	♀	0	3	18	17	6	0	0
	計	0	13	60	57	13	4	1
	%	0	8.7	40.5	38.5	8.7	2.7	0.6
Bandel (1924)	♂	0	1	1	0	3	4	0
	♀	0	2	6	5	2	0	1
	計	0	3	7	5	5	4	1
	%	0	12.0	28.0	20.0	20.0	16.4	4.0
Hogge (1925)	症 例	0 % 0	15 16.6	39 40.3	33 36.0	10 11.0	3 3.3	0 0
Blatt (1925)	症 例	1 % 3.3	4 13.3	9 30.0	8 26.6	7 23.3	1 3.3	0 0
Western born (1926)	症 例	2 % 1.3	30 19.8	56 37.1	38 25.2	16 10.6	8 5.3	1 0.7
Eckehorn (1926)	♂	7	120	284	260	148	55	19
	♀	5	92	250	192	91	33	11
	計	12	212	534	452	239	88	30
	%	0.8	13.5	34.1	28.8	15.3	5.6	0.2

Buneberg (1927)	♂	1	24	47	28	19	4	1
	♀	3	21	39	19	5	2	0
	計	4	45	86	47	24	6	1
	%	1.9	21.2	40.4	22.1	10.8	2.9	0.5
志 賀 (1929)	♂	2	21	56	33	8	2	0
	♀	0	7	20	14	6	1	0
	計	2	28	76	47	14	3	0
	%	1.0	16.5	45.0	28.0	7.7	1.5	0
村 山 (1929)	症 例	1	34	124	55	30	10	1
	%	0.3	13.3	49.4	20.1	11.7	0.8	0.3
中 川 小 池 (1929)	♂	0	7	30	13	6	3	0
	♀	1	3	13	4	3	1	0
	計	1	10	43	17	9	4	0
	%	1.1	11.7	51.1	20.1	10.5	4.4	0
北 川 岡 部 (1930)	♂	4	52	150	72	28	15	3
	♀	3	16	57	41	15	7	3
	計	7	68	207	113	43	22	6
	%	1.5	14.6	44.0	24.7	9.2	4.7	1.3
佐 谷 瀧 川 (1931)	♂	0	4	40	8	7	0	0
	♀	0	4	11	8	1	0	0
	計	0	8	51	16	8	0	0
	%	0	9.6	61.5	11.2	9.6	0	0
大 桑 (1937)	♂	2	29	80	49	17	3	3
	♀	0	8	20	11	1	0	0
	計	2	37	100	60	18	3	3
	%	0.9	16.6	44.9	26.9	8.1	1.3	1.3
總 計		52	696	2093	1450	668	236	71
	%	1.0	13.2	39.7	27.5	12.7	4.5	1.3

## 4. 性 別

腎臓結核ノ症例ト男女性別トノ關係即チ本症ノ男女性、何レニ好發スルヤト云フコトニ關シテモ從來ヨリ多少論議セラレタル所ナルモ、兩者間ニ甚シキ相異ナキモノノ如ク、又差異アリトスルモ重大ナル意義ヲ有スルモノニアラザルベシ。諸家先人中男性ニ多シトナスモノニ Illyes, Boeckel, Waldschmidt, Kapsammer, Kümmell, Heidrich, Eckehorn, Foulerton, Runeberg, 朝倉, 廣瀬, 間野, 菰田, 高木, 志賀, 佐谷, 瀧川氏等ナリ。

女性ニ多シトナスモノニ、Frank, Gallotti, Bandel, Hogge, 阿久津氏等アリ。コノ他ニ外

國ニ於ケル腎臟摘出例ニ於テハ、ソノ3分ノ1ハ男性ニシテ、他ノ3分ノ2ハ女性ナリト報告セリ。(Barth, Israel, Krönlein, Küster, Kümmell氏)コレニ依レバ女性ハ男性ヨリモ手術セラル、コト多キハ明カナリト雖モ、コレヲ以テ直チニ女性ハ男性ヨリ罹患率高シトハ斷言シ難ク、屍體解剖例ヨリ見ルモ男性ノ罹患數多キヲ察シ得ベク、即チ Kapsammer 氏ノ統計ニ依レバ191例ノ腎臟結核患者屍體中135例ノ男性ニ對シ女性ハ僅カニ56例ヲ算セルニ過ギズ。然レドモ Bandel 氏ハ女子ノ症例多キ事實ニ就キ女性ハ男性ニ比シテ早クヨリ種々ノ徵候ヲ自覺スルコト、及ビ診斷容易ナルガ爲メニ女性ノ症例モ多數トナルナリト説明セリ。

。翻テ我國諸家ノ男女兩性罹患ノ統計ヲ見ルニ男性ハ女性ニ比シテ常ニ高位ヲ示シ朝倉氏ハ男性79.9%、廣瀬氏81.1%、志賀氏72.4%、村上氏72.9%、中川、小池氏70.2%、佐谷、瀧川氏71.1%等何レモ70%以上ノ高率ニシテ。余ノ例ニ於テハ最も多ク82.5%ニシテ實ニ女性ノ4倍ニ相當セリ。今コレ等先人諸家ノ報告ヲ聚メ、表示シソノ平均率ヲ見ルニ男性63.8%、

第3表 腎臟結核患者性別 (志賀氏ニ依ル)

報告者	男		女	
	症例數	百分率 (%)	症例數	百分率 (%)
Krönlein (1904)	13	25.5	38	74.5
Illyes (1908)	21	53.9	18	46.1
Boeckel (1912)	(右 29 左 58) 87	81.3	(右 8 左 12) 20	18.7
Waldschmidt (1912)	(剖檢例 臨床例) 81	68.0	(剖檢例 臨床例) 38	32.0
Frank (1911)		52.0		48.0
阿久津 (1906)	68	45.5	77	54.5
Kapsammer (1907)	剖檢例 135	46.7	56	53.3
朝倉 (1912)	72	70.6	19	29.4
廣瀬 (1917)	112	79.9	26	20.1
間野 (1919)		81.1		18.9
菰田 (1912)	58	60.0	47	40.0
Galotti (1912)	77	55.2	79	45.8
高木 (1923)	106	49.2	79	50.8
Kümmell (1923)	剖檢例 81	71.6	42	28.4
Heidrich (1924)	臨床例 52	68.0	剖檢例 38	32.0
Bandel (1924)	9	52.0	臨床例 48	48.0
Hogge (1925)		52.4		45.8
Eckehorn (1926)		36.0	16	64.0
Foullerton (1927)	87	40.0		60.0
Runeberg (1927)	124	57.0	54	43.0
志賀 (1929)	123	61.7	89	38.2
Blatt (1925)	14	58.2	47	41.8
村山 (1929)	186	72.4	16	27.6
中川、小池 (1929)	59	46.6	69	53.4
北川、岡部 (1930)	324	72.9	25	27.1
佐谷、瀧川 (1931)	59	70.2	142	26.8
大桑 (1937)	183	69.5	24	30.5
總計及平均率	2131	63.8	1068	28.9
				17.5

女性 39.5%ニシテ男性ノ罹患率ノ大ナルコトヲ示セリ。

斯クノ如ク腎臟結核ノ男女兩性罹患ノ頻度ニ就テハ諸家ノ統計一致セズ、外國ニ於ケル諸家ノソレハ女性ノ數男性ニ比シテ多數ナリトセルモノ稍々多キガ如キモ、本邦ニ於テハコレニ反シテ男性ノ數、女性ニ比シテ多數ナリトセルモノ多シ。然レドモ兩性ノ罹患率ハ大體ニ於テ大差ナキモノナラム。

## 5. 職 業 別

本疾患ト職業的差別トノ關係ニ就テハ等閑ニ附セラル、ノ嫌アルモ、尙多少ノ意義ノ存スベシ。余ノ統計ニ依ルニ農業最モ多ク全患者ノ約3分ノ1ヲ占ムルモ、コレハ地方的關係ニ依ルモノナルベク、職人18例中ニ大工職ノ8例ハ多少注目スベキモノナラムカ。然レドモ患者ノ稱スル職業ナルモノハ奈邊マデ信用ヲ置クニ足ルヤ疑問トスル所ニシテ本統計上動々モスレバ正鵠ヲ失スルノ虞アルモ單ニ參考トシテ記載セリ。

第4表 腎臟結核患者職業別 (223名)

職 業	患者數
農 業	86
商 業	25
無 職	22
職 人	18
會 社 銀 行 員	16
學 生	7
醫 師 藥 種	7
官 公 吏	6
工 業	5
漁 業	5
教 員	5
僧 侶	4
軍 人 船 員	4
店 員	3
料 理 飲 食 店	3
理 髮 店	3
魚 商	2
湯 屋	1
運 轉 手	1

## 6. 罹 患 側

腎臟結核ハ體內ノ原發結核病竈ヨリ常ニ二次的ニ血行傳染ニ依リテ發病スルコトヲ以テ原則トシ、又血行傳染ナルニモカ、ハラズ、初期ニ於テハ殆ンド凡テ單側性ニ來ルモノトセラレ、臨床上檢索シタル諸家ノ成績モ亦コノ事實ヲ證明スルナリ。例ヘバ Doering 氏ハ兩側ニ來ルモノハ30例中1例モ認メズト云ヒ、Simon 氏モコレト同様ナル結果ヲ示セリ。然ラバ何レノ一側ニ來ルコト多キカ又何時マデ單側ノミニ止マルヤ、或ハ原則上單側性ニ起ルモノナレドモ場合ニ依リ初メヨリ兩側共ニ侵スコトアリヤヲ檢索スルモ亦必要ナリトス。

コレヲ文獻ニ徵スルニ兩側性腎臟結核ノ臨床例ハ高木氏ノ報告ニ依ル腎臟結核患者ノ3.—5.%ヲ最小トシ、Kapsammer 氏ノ35.%ヲ最大トシ平均該患者ノ12.3%ノ割合ヲ示スモ余ノ檢索シタルモノハ223例中58例ニ26.%ニ兩側ノ侵サル、ヲ認メタリ。

コレ等臨床例ニテ兩側ナルヲ決定スルニハ診斷ノ難易ト熟練ニ依ルハ勿論ナルモ、最近腎臟機能檢査法ノ進歩シタルガ爲メ輸尿管性、又ハ經靜脈性「ピエログラフイー」等ノ「レントゲン」檢査ノ診斷法ノ詳細ヲ極メ、腎臟結核ノ患側診斷ノ精細トナルニ伴ヒ兩側腎臟結核ノ症例ノ増加スルニアラザルカト思考セラル、ナリ。

志賀氏ハ概略的ニ腎臟結核患者ノ約10.%ハ兩側性ニ罹患セルモノト見做シ得ベント記載セリ。然レドモコレヲ剖檢例ノ統計ニ比較スルトキハ非常ナル相異ヲ來スベシ。即チ剖檢ニ依リ兩側腎臟結核ト診斷セラレタルモノ實ニ49.9—83.%ニシテ平均63.9% (Rafn, Frank, Bron-

gersma, Waldschmidt, Kümmell, 新島氏) = 兩側性 = 結核病變ヲ發見セルコトヲ報告セリ。如何ニシテ剖檢 = 於テ兩側性ノモノ多數ナルカラ考フルニ、ソノ理由ハ Kümmell, Wildbolz, 氏等ノ説明シ居ルガ如ク臨床例ニテハ腎臟結核ノ比較的初期病變ノモノ多キニ反シ、剖檢例ニテハ病勢ノ進捗シタル末期ノモノノ多キ爲メ、一側ヨリ他側ニ病變ノ波及シ、以テ兩側腎ノ侵サル、ニ至リシニ依ルト、今一ツハ剖檢例ニテハ臨床的ニ發見セラレザリシ輕症ノモノ或ハ看過サレ易キ小結核竈ヲモ剖檢スルコトニ依リテ、發見セラレコトヲ計上サレルガ故ニ斯ク多數トナリシモノト解スベキナリトセリ。

第5表 兩側腎臟結核ノ症例及症例率 (志賀氏, 佐谷及瀧川氏ニ依ル)

報 告 者	剖檢例 (%)	臨床例 (%)	症 例
Küster (1903)		4.3	368例中16例
Krönlein (1904)		4.5	
Rafin (1905)	49.9	14.0	
Hottinger		12.0	
Wildbolz (1907)		19.8	
Frank (1911)	65.0	11.0	653例中72(臨床)
Brongersma (1910)	55.0	14.0	
Kapsammer (1906)		35.0	191例中67例
Waldschmidt (1912)	70.0	6.0	
Galatti (1921)		7.0	156例中11例
菰田 (1921)		7.2	
井上		8.6	
高木 (1923)		3.5	148例中 5例
Fedoroff (1923)		10.0-14.0	
Kümmell (1924)	83.0	6.0	
Bandel (1924)		28.0	25例中 7例
Haggard (1924)		10.0	
Foullerton (1927)		5.0	
Runneberg (1927)		17.7	165例中28例
志賀 (1927)		15.0	170例中25例
村山 (1929)		10.2	237例中26例
北川, 岡部 (1930)		7.9	466例中37例
新島 (1925)	60.4		
大桑 (1937)		26.0	223例中58例
平均百分率	63.9	12.3	

以上述ベタルガ如ク臨床上検査シ得タル諸家ノ成績 = 於テハ偏側 = 來ルコト甚ダ多クシテ、剖檢上ノ成績ハコレニ反シテ兩側 = 來ルコト多キヲ示シ、ソノ結果ハ全く相反ス。コレ即チ臨床上ニテハ比較的初期 = 於テ一側ヨリ未ダ他側ノ侵サレザル中ニ診斷セラレ治療スルガ故ニ、偏側 = 認ムル數ハ剖檢ニ依リ得ラレタル統計ニ比シテ多カルベキガ當然ナリ。

然レドモ臨床上發見セル腎臟結核ノ總テガ、初期ノモノナリト云フベカラズ。且ツ又極ク初期ノ病變ハ輸尿管「カテーテルムス」「ピエログラフイー」等ノ如キ詳細ナル検査ヲ行フニア



ラザレバコレヲ認メ難キモノナルヲ以テ、兩側ノ既ニ侵サレタルモ、他ノ一側ハ病變未ダ輕微ニシテ臨床的診斷ノミニテハ、ソノ病變ヲ觀察シ得ザル爲メニ看過セラル、場合尠カラザルベシ。然モ簡單ナル臨床的診斷方法ノミニテハ前述ノ如キ統計上ノ相異ヲ惹起セシムル最大原因ナルベク、又コレヲ事實ニ徵スルモ先ニ臨床兩側性ヲ1例モ認メザリシ Doering 氏ガソノ剖檢例ニ就テ他側腎ノ結核性變化ヲ發見シ、菰田氏ハ臨床上偏側性結核腎90例ヲ擧ゲソノ中手術後死亡セル患者ヲ剖檢シタルニ1例ヲ除ク他ハ皆他側ニ結核病竈ノ存在スルコトヲ認メタリ。

然リト雖モ以上ノ如ク臨床的診斷ニ於テ、他側腎臟ノ結核性病變ヲ見逃シ、偏側性腎臟結核ナリト診斷セラル、コト時ニアリトスルモ臨床的實際ニ於テハ、ソノ例ハ比較的僅少ナルベク、即チ患側腎別出セル患者ノ後ニ至リ、他側腎ノ結核ヲ認メラル、コト概シテ稀ニシテ、Israel 氏ノ報告ニ依ルニ偏側腎臟結核ニテ腎臟摘出セルモノ1023例中僅カニ33例ニ於テコレヲ認ムルニ過ギズトセリ。

要スルニ腎臟結核ハ最初一側ニ始リ同時ニ兩側ニ來ルコトハ甚ダ稀有ナル異例ト云フベク、比較的長時日ノ中ニ一側ノ病勢充進スルニ從ヒ、後ニ遂ニ他側ニ轉移スルモノナリト推斷シ得ベシ。即チ剖檢例ニ於ケル報告ニ依ルモ兩側病變ヲ檢スルニ、ソノ程度ニ於テ非常ナル差異アリトセリ。(佐谷、瀧川氏)

コノ病變ノ差異ソノモノハ結核ガ先ゾ一方ノ腎臟ヲ侵シ、次イデ他側腎ヲ侵スマデニ相當ノ年月ヲ要スルコトヲ立證スル事實トモ稱スベキナリ。然レドモコノ慢性腎臟結核患者ニノミ見ル所見ニシテ、肺又ハ他ノ臟器ノ重症結核ノ結果發生スル粟粒性腎臟結核症ニ於テハ初期ヨリ兩側ヲ侵スモノ頗ル多ク、Shrill 氏ハ少クトモ全例ノ3分ノ2ニ於テコレヲ認ムト斷ジ、新島氏ノ剖檢例ニ見ルモコノコトヲ裏書セリ。(佐谷、瀧川氏)

然ラバ偏側罹患ニ於ケル左右兩側ノ何レニ多キカラ比較スルニ、諸家ノ統計ヲ見ルモ左側

第 6 表 腎臟結核ノ患側別 (志賀氏佐谷、瀧川氏ニ依ル)

報 告 者	右 側		左 側	
	症 例	百分率 (%)	症 例	百分率 (%)
Fakla (1893)	40	39.6	33	32.6
Steintahl (1885)	5	41.6	7	58.3
Simon (1901)	21	51.4	17	48.5
Küster (1902)	189	51.3	163	44.2
Krönlein (1904)	24	47.0	23	45.0
Rafin (1905)	9	45.0	11	55.0
Rahe (1906)	6	75.0	2	25.0
Kapsammer (1906)	57	51.3	54	48.6
阿久津 (1906)	80	55.1	65	44.9
Blum (1907)	67	36.2	118	63.7
Wildbolz (1907)	118	47.0	97	38.6
Illyes (1908)	20	51.3	19	48.7
Doering (1909)	13	43.3	17	56.6

Foullerton (1910)	11	47.8	11	47.8
Borelius (1911)	17	68.0	8	32.0
Frank (1911)	383	54.1	324	45.8
Boeckel (1912)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 29 8) 37	36.5	( $\frac{\circ}{\circ}$ 58 12) 70	69.2
Waldschmidt (1912)	55	58.8	39	41.2
朝倉 (1912)	47	51.9	44	48.1
Wildbolz (1913)	118	55.3	97	44.7
間野 (1919)	25	62.5	15	37.5
井上	( $\frac{\circ}{\circ}$ 40 9) 49	46.2	( $\frac{\circ}{\circ}$ 40 17) 57	53.8
菰田 (1921)	60	60.0	33	33.0
Galotti (1921)	89	61.3	56	48.7
高木 (1923)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 47 19) 66	46.2	( $\frac{\circ}{\circ}$ 56 21) 77	53.8
Kümmell (1923)	剖檢 14	54.0	剖檢 12	46.0
Bandel (1924)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 1 8) 9	50.0	( $\frac{\circ}{\circ}$ 4 5) 9	50.0
新島 (1925)	剖檢( $\frac{\circ}{\circ}$ 5 15) 19	55.9	剖檢( $\frac{\circ}{\circ}$ 10 5) 15	44.1
Runeberg (1929)	74	54.0	63	46.0
志賀 (1929)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 34 25) 59	49.0	( $\frac{\circ}{\circ}$ 32 11) 43	35.0
Blatt (1929)	17	56.7	13	43.3
村山 (1929)	117	46.7	104	40.8
中川, 小池 (1929)	47	56.0	37	44.0
北川, 岡部 (1930)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 118 66) 184	53.6	( $\frac{\circ}{\circ}$ 105 54) 159	46.5
佐谷, 瀧川 (1931)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 20 8) 28	45.9	( $\frac{\circ}{\circ}$ 21 12) 33	54.1
大桑 (1937)	( $\frac{\circ}{\circ}$ 48 14) 62	37.6	( $\frac{\circ}{\circ}$ 89 14) 103	62.4
總計及ビ平均百分率	2236	51.2	2048	46.6

(本表百分率ハ各報告者ニ依リ兩側性ノモノヲ除外セルモノト然ラザルモノトアリ)

ヨリ右側ノ罹患率大ナリトスルモノ多數ナルモ、余ノ例ニテハ斷然左側大ニシテ 62.4%、右側ハ 37.6%ナリ。尙左側ノ罹患ヲ多シトナス村上氏ハ右側 46.7%、又佐谷、瀧川氏モ右側ハ少クシテ 45.9%ヲ示セリ。(第6表参照)

コレニ依テ見ルニ、右側腎ノ左側腎ヨリ罹病數ノ高キ理由ヲ右側腎ノ異常移動性ヲ以テソノ主因ヲナストノ說ヲ示スモノノ如クナルモ、左右罹患數ノ差ハ僅少ニシテ左マデ重視スベキモノニアラス。(佐谷、瀧川氏)

## 7. 合併症

腎臟結核時ニハ結核尿ノ下流スルガ爲メニ、輸尿管、膀胱等ノ下流尿路ニ結核性病變ノ續發スルコトハ殆ド必發性ニシテ、コレ等ノ結核症ハ合併症ト稱スルヨリ、寧ろ必發的ノ續發症トモ云フベク、或ハ更ラニ進ミテ腎臟結核症ノ領域ニ編入スベキモノナリ(志賀氏)。故ニコレヲ除外セル他ノ結核性合併症ニ就テ觀察スルニ、本症ハ血行傳染ニ依リ二次的結核症ナルガ爲メニ、必ズヤ腎臟以外ノ臟器ニ結核性ノ原發病竈ノ存スベキガ當然ナリ。時ニ又腎臟結核ヨリ、他ノ臟器ニ傳播スルコトモアルベク、或ハ結核尿ノ下流ニ依リ、又ハ血行傳染ニ依リ同ジク生殖器ニ結核ヲ續發スルコトモ頗ル可能ナリ。

茲ニ於テ泌尿器系以外ノ合併症ヲ遠隔性合併症 (entfernte Komplikation) ト稱シ、結核尿ノ下流ニ依リ泌尿生殖器ニ發生スル合併症ヲ隣接性合併症 (benachbarte Komplikation) ナル名稱ヲ附シテコレヲ區別セリ。

遠隔性合併症ハ肋膜、肺、腹膜、骨、關節、淋巴腺等ノ重要内臓器ニ於ケル結核症ニシテ、コレ等ノ合併症ハ臨床的ニ明瞭ニ診斷セラル、場合アルモ、時ニ臨床的ニ顯著ナラズシテ、死後剖檢ニ依リ初メテ立證セラル、コトアリ。コノ遠隔性合併症ノ際ニ、ソノ症状ノ重症ナルガ爲メニ内科的ノ治療ヲ受クルヲ必要トシ、コレガ爲メニ患腎剔出等ノ根本的治療モ禁忌トナス場合多シ。コレ等内臓器ノ合併症ハ泌尿器科的ニモ診斷スベキハ勿論ナルモ、内科的ニ詳細ニ診斷セラレ、且ツ治療セラルベキモノナリ。

コレニ反シ隣接性合併症ハ直接泌尿器科的ニ診斷セラルベキモノニシテ、然モソノ症状ノ比較的輕微ナルトキ看過サレ易キニモカ、ハラズ、患者ノ豫後ニ對シテ甚大ナル影響ヲ有スルモノナルガ故ニ、臨床的意義ハ非常ニ重大ナリ。故ニ腎臟結核ノ際ハ必ず全泌尿生殖器系統ヲ十分ニ精査スルコト最モ肝要ナリトス。

今本症ノ合併症ニ關スル文獻例ヲ摘記スルニ Krönlein氏ハ34例ノ腎臟結核患者中臨床的ニ他ノ結核症状ノ立證セラレタルモノ22例ニ60.5%アリ。Rovsing氏ハ患腎摘出ヲ行ヒタル結核腎47例中ニ膀胱結核23例ニ50.0%ト生殖器ニテハ男子患者24例中10例ニ41.6%ニ結核性泌尿器合併症アリト報告セリ。Braasch氏ハ患腎摘出例中最モ多キ合併症ハ男子生殖器結核ニシテ60.0%アリ。ソノ中ノ大部分ハ副睪丸結核ニシテ8分ノ1ハ攝護腺結核ナリ。肺結核ハ手術例中60.0%ニ證明セラレタリト。

Waldschmidt氏ハ腎臟結核患者中44.0%ハ臨床的ニ結核性疾患ヲ立證サレ、ソノ中肺結核22.0%アリテ最大多數ヲ示シ、剖檢的ニ全例ノ殆ンド全部99.2%ニ結核性ノ疾患ヲ有セリ。Wildbolz氏ハ患腎摘出ニ際シテハ、生殖器結核合併症ノ有無ヲ精査スルコト肝要ナルコトヲ力説シ、手術患者125例中ニ男子52例ニシテソノ中生殖器結核アルモノ37例ニ70.1%ノ多數ヲ示シ、コレガ手術豫後ニ重要ナル關係アリト云ヘリ。Boeckel氏モ本症患者ニ生殖器結核例ノ多キヲ説キ男子104例中21例ニ20.0%ニ副睪丸結核ヲ證明シ、ソノ中單側ノモノ9例、兩側ノモノ10例アリ。Westerborn氏ハ本症135例中臨床的ニ結核合併症ヲ證明シタルモノ65例アリ。コノ泌尿器合併症ハ男子93例中47例ニ50.0%アリ。又手術患者70例ニ於テ37例ニ52.8%ニ生殖器結核アリ。如何ニ生殖器結核ノ合併症ノ多キカラ知ルベシ。Foullerton氏モ生殖器結核ノ合併症ヲ重要視シテ男子患者87例中生殖器結核ヲ有スルモノ29例ニ30.3%アリ、ソノ他結核症ハ臨床的ニ立證セラレタルモノ15.0%、既往症ヲ有スルモノ26.0%アリト云フ。Runeberg氏ハ213例中ノ統計ニ於テ生殖器結核48例ニ22.5%、ソノ他臨床的ニ結核症ヲ立證スルモノ41例ニ19.2%アリ。

村山氏ノ本症ノ255例ノ統計ニテハ最モ多キ膀胱結核ヲ除外スルトキハ、他ノ結核症アルモノ122例ニ47.8%アリ。コノ中副睪丸結核53例ニ20.7%、攝護腺結核21例ニ8.2%、内臓結核ニテハ肋膜炎最モ多ク52例ニ20.4%、肺結核25例ニ9.8%ヲ示セリ。中川、小池氏ハ患腎

摘出例84例中結核合併症アルモノ51例 = 70.8%アリ。ソノ中肺結核、副睪丸結核最モ多シト稱セリ。北川、岡部氏ハ本症患者466例中合併症ヲ有スルモノ257例 = 55.2%アリ、尙精細ニ研索シタルモノ270例中ニハ實ニ185例 = 68.5%ノ多數ニ合併症ヲ發見シ、ソノ中副睪丸結核88例 = 18.9%、肋膜炎ハ79例 = 16.7%ノ多數ニ證明シ、結核腎摘出ヲ行ヒタル170例ニ就テ見タルニ、ソノ中111例 = 65.3%ニ結核性合併症ヲ認メタリト。渡邊氏ハ患腎摘出例100例ノ統計中男子ニ肺結核8例 = 18.0%、女子ニテハ14例 = 36.0%ナルニ反シ、生殖器結核ハ男子患者43例中副睪丸結核13例 = 30.0%、攝護腺結核22例 = 51.0%ヲ算シ泌尿器結核、殊ニ攝護腺ノ結核症ノ多キコトヲ明カニセリ。

余ハ本症患者223例中ソノ全部ニ膀胱結核ヲ認メ、且ツ男子患者183例中副睪丸結核ヲ有スルモノ66例 = 36.0%ヲ示シ更ラニコノ中28例ハ兩側副睪丸結核ニシテ即チ副睪丸ヲ侵サレタルモノノ42.4%ハ兩側性ニ結核性病變ヲ有ス。尙攝護腺結核ハ116例 = 63.4%ヲ示シ、コレ亦非常ナル高率ニシテ以テ生殖器合併症ノ多キコト先人諸家ノ報告ニ一致セリ。尙臨床上肺結核、肋膜炎、腹膜炎等遠隔性合併症ヲ認メラル、モノ187例ニシテ實ニ83.8%ニ上レリ。

以上ニ依リコレヲ綜合スルニ各人ノ觀察點ニ依リ統計的成績ハ相異スルモノアリトスルモ、大體ニ於テ泌尿生殖器ニ於ケル結核性合併症ハ最高位ヲ占メ、次ハ肺結核、肋膜炎ナリトス。前者ハ男性ニ於テ驚クベキ數値ヲ示セルコトハ確實ナリ。然シテ肺結核ソノ他遠隔性合併症ノ有無ハ臨床各人ノ注意シ診察スル所ナルモ、生殖器結核、就中攝護腺結核ノ有無等ハ屢々見逃サレ易キモノナリ。然モ泌尿器系統ノ合併症ハ腎臟結核ノ豫後ニ對シテ大ナル影響ヲ有スルモノナルガ故ニ特ニ注意スベキ必要アリ(志賀氏)。

### 8. 初 發 徵 候

本症患者ノ最初ニ自覺スル症狀即チ初發徵候ハ如何ナルモノナルカラバ検査セルニ最モ多キ訴ヘハ排尿疼痛ニシテ、次ニ血尿、尿意頻數ノ順序ナリ。然モコレ等自覺症狀ハ單個ニ自覺シ、又ハ數個ヲ同時ニ合併シテ訴フルコトアリ。コノ最初ニ發見スル初發徵候ハ患者ノ個性ニ依リ相違スルハ勿論ニシテ、尿意頻度數、排尿疼痛等ノ膀胱症狀ヲ自覺スル以前ニ膿尿ヲ以テ初發徵候ヲ發見スルモノアルモ、カ、ルモノハ特ニ理智的ナルカ、又ハ神經質的ナル患者ニ多ク時トシテ鈍感ナルモノニ於テハ腎腫ノ形成セラル、マデ自覺セザルモノアリ(北川、岡部氏)。

余ガ觀察セル223名ノ患者ニ於テ、ソノ初發徵候トシテ記錄サレタ所ハ次表ノ如シ。

第 7 表 腎臟結核初發徵候

症 狀	排尿痛	血 尿	尿意頻數	尿濁	下腹痛	腰 痛	腎臟部痛	發 熱
症 例 數	134	91	82	68	16	14	7	1
% (223名ニ對スル)	60.1	40.8	36.8	30.5	7.1	6.3	3.1	0.4

## 9. 發病ヨリ診斷マデノ期間

發病ヨリ診斷マデノ期間ト稱スルハ、即チ患者ガ自覺的症狀ヲ知リシヨリ、當泌尿器科ニ診斷ヲ乞フマデニ幾何ノ日數アリシヤニ根據ヲ置カムトスルナリ。第8表ニ示スガ如ク余ノ例ニ於テハ最も早キハ3日ヨリ長キハ3ケ年ニ及ブモノアルモ普通2—3ケ月前後ニ於テ最高ヲ認ムルナリ。北川、岡部氏モ亦2—3ケ月ヲ以テ最高率ヲ示スコトヲ記載セリ。然リト雖モコノ期間ハ患者自身ノ都會、又ハ僻陬ノ地ニ居住スル等ノ區別ニ依リ、或ハ交通ノ便、不便ノ關係ニ依リ患者ノ神經質ニシテ疾病ニ對シ過敏ナルヤ否ヤノ問題等ニ依リテ、自覺的症狀ヲ訴ヘテヨリ當院泌尿器科ヲ訪フマデノ期間ニ多少ノ差異アリトスルモ、多クハ發病後2—3ケ月ニシテ診斷セラル、モノト見做シ得ベシ。

茲ニ於テ腎臟結核ガ如何ニ慢性的ニ經過シ、又患者ガ長ク苦痛ヲ忍耐シテ後初メテ醫治ヲ乞フニ至ルモノナルコトヲ知り、同時ニ更ラニ翻テ如何ニ本症ガ一般ニ看過セラレ易キ疾患ナルヤヲ立證シ得タリト云フベシ。

然レドモ發病後1ケ年或ハソレ以上ノモノハ當泌尿器科ヲ訪フ以前ニ、他ノ地方醫ニ依リ膀胱炎トシテ、又ハ腎臟結核、膀胱結核ノ診斷ノ下ニ治療ヲ受ケシモ經過ノ長キ爲メ、又ハ輕快ニ趣カザルノ故ヲ以テ、當科ニ診斷ヲ求メシモノノ多キコトヲ考慮スベキナリ。

第8表 發病ヨリ診斷マデノ期間

期間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	1ヶ 年半	1ヶ 年以上	
症 例 數	♂	23	29	32	18	12	20	6	3	6	6	0	14	5	9
	♀	5	5	8	1	5	4	1	2	1	0	0	1	2	5
計	28	34	40	19	17	24	7	5	7	6	0	15	7	14	
%	12.6	15.2	18.4	8.5	7.6	10.8	3.1	2.2	3.1	2.6	0	6.7	3.1	6.2	

## 10. 腎臟結核ノ症狀

腎臟結核ノ症狀ハ尿ノ變化及ビ膀胱症狀ヲ以テ主要徵候トシ、腎臟及ビ輸尿管症狀、或ハ全身の症狀ハ從屬的ノモノナリ。尿ノ變化ハ最初期ヨリ現ハル、必發性ノモノニシテ、肉眼的ニハ濁濁セル膿尿、又ハコレニ血液ヲ混ジタル膿血尿ニシテ、ソノ重輕症ノ程度ノ差異ニ依テ色調或ハ濁濁ニ強弱ヲ生ズ。

膀胱病變ハ腎臟ノ病變ノ進展ニ伴ヒ、比較的初期ヨリ續發スル殆ンド必發性トモ云フ得ベキモノニシテ、ソノ症狀ハ普通膀胱炎ニ酷似シテ尿意頻數、排尿痛、膀胱容量ノ減退、終末血尿等ヲ主トシテ發生シ、甚シキトキニハ膀胱痛ソノ他ノ隨伴的症狀ヲ呈スルモノナリ。

### イ. 腎臟部疼痛及ビ腰痛

初期ニハ患側腎ニ異常ヲ感ズルコトハ稀ニシテ多少病勢ノ進展スルニ從ヒ、腎臟部ニ不快ナル鈍痛アルコトアリ。Rovsing氏ハ全例ノ60.%ニハ腎臟痛アリト云ヒ、Wildbolz氏ハ43.%ニ、Bandel氏ハ15.%ニ多少ノ腎臟痛アリト稱セリ。コレ等ノ腎臟痛ハ腎臟ノ腫大シタル場

合、或ハ周圍被膜ト癒着シタル際ニ、不快ノ鈍痛又ハ重量感トシテ現ハレ、コレガ輸尿管ヨリ膀胱ニ傳達スルナリ。余ハ腎臟部ニ疼痛ヲ訴ヘタルモノ（初發徵候トシテ）7例=3.1%、腰痛14例=6.3%、下腹痛16例=7.1%、合計37例=16.5%=於テ腎臟症狀ヲ訴ヘタルモ膀胱症狀ニ比シテ、ソノ率甚ダ低キヲ知ルベシ。（第7表参照）

#### ロ. 觸 診

結核腎ノ觸診ハ一般ニ不正確ナル上ニソノ診斷的價値ハ少シトサル。通常腎臟結核ノ初期ニハ觸診サル、コトナク、病變進シテ腎臟腫大シテ、或ハ更ラニ進展シテ周圍被膜ト癒着ヲ起セルトキニ觸診セラル、モノナレドモ、實際ニハ必ズシモ然ラズ。正常腎ニテモ腎位ノ下垂セルモノ、又ハ他側罹患腎ノ機能ヲ代償スルガ爲メニ、肥大セルモノニテハ容易ニ觸診セラルベシ。コレニ反シテ結核腎ナルモ必ズシモ觸診セラル、トハ限ラズ。腎臟病變ノ可ナリ進シセルモノニ於テモ觸診セラレザル場合往々ニ存スルナリ。然レドモ志賀氏ハ結核腎77%=觸診セラレ、然モ女性ハ男性ニ比シテ、ソノ觸診セラル、率高シト稱セリ。又波戸氏ハ初期腎臟結核ニ於テハ男性45%、女性100%、完成期ニ於テハ男性66.6%、女性80.8%、末期ニ於テハ男性76%、女性66.6%ノ陽性ヲ得タリト。

余ハ223例中134例=60.5%=觸レ、ソノ中男性101例=55.7%ナルニ、女性ハ33例=82.2%ノ成績ニシテ男性ニ比シテ女性ノ高率ヲ如實ニ示セリ。

然ルガ故ニ腎臟結核ノ場合ニ於テハ患腎ニテモ觸診セラレザルコトアリ。又逆ニ健康腎ニテモ觸診サル、場合アリ。故ニソノ診斷的價値ハ甚ダ少キモノナリ。

### 11. 膀胱結核ノ症狀

凡テノ腎臟結核ハ結核尿ニ依リ下行性ニ傳染シテ膀胱結核ヲ生ズルモノナルコト既ニ明カナリ。膀胱結核ノ發生スルトキハ茲ニ頑固ナル膀胱症狀ヲ惹起シテ患者ノ最モ苦痛トスル所トナリ、初メテ醫療ヲ乞フニ至ルモノナリ。故ニ腎臟結核ノ主症狀ハ膀胱症狀ナリトモ斷言シ得ラル、ナリ。Heidrich氏ハ87.8%ハ腎臟症狀ヨリモ膀胱症狀ノ方甚シト云フモ、志賀氏ハ68.3%ハ膀胱症狀ヲ主訴トセリト。余ノ例ニ於テハ初發徵候ノ83.5%ハ膀胱症狀ヲ以テ現ハレタリ。

#### イ. 尿 意 頻 數

本症狀ハ膀胱結核ニ最モ多キ症狀ニシテ、膀胱壁ガ結核性病變ノ爲メニ非常ニ過敏トナリ、尿ノ瀦溜スルコト少量ナルモ、ソノ存在ヲ感じ、ソノ爲メ膀胱壁ヲ刺戟スルガ故ニ忽チ尿意ヲ催スナリ。初期ニ於テハ排尿回數モ1日2—3回ヲ増加スル程度ナルモノ不識ノ中ニ尿意頻數トナリ、從テ排尿回數亦増加シテ24時間内ニ十數回ニ及ブニ至ル。余ノ例ニ於テハ尿意頻數ヲ現症トスルモノ實ニ187例=84.9%ニシテ最モ劇シキモノハ1時間數回ニ及ブモノアリ。

#### ロ. 排 尿 痛

膀胱結核ノ際ニ尿意頻數ニ隨伴シテ生ズル症狀ハ排尿痛ナリ。コハ攝護腺炎、後部尿道炎

似タル終末疼痛ニシテ穿刺性、痙攣性ニ感ズルモノナリ。即チ排尿終末時ニ浸潤シタル膀胱壁ガ收縮スル爲メニ劇シキ疼痛トシテ感ズルモノニテ、コレニ依リ患者ハ出來得ル限り排尿ヲ避クル傾向アリ。余ノ例ニテハ排尿痛ヲ現症トシテ訴フルモノ184例ニ82.5%ニコレヲ認メタリ。

## ハ. 膀胱容量

膀胱容量ハ健康ナルモノハ普通200珄以上ナルモ、コレニ結核性ノ病變ヲ生ジ、然モ漸次増悪スルニ伴ヒ多數ノ潰瘍ヲ生ズルノミナラズ、膀胱壁ノ浸潤強度トナルニ從ヒ、益々膀胱ノ擴張性ヲ失ヒ、膀胱容量ノ減退ヲ來シ、遂ニハ30—50珄トナリ、斯クテ絶エズ極ク少量ノ尿ヲ頻リニ排出スルニ至ルベシ。即チ結核性萎縮膀胱コレナリ。コノ膀胱容量ノ減少ハソノ他ノ膀胱炎ニモ起リ膀胱癌ニシテ、膀胱壁ノ浸潤ノ甚シキトキニハ極メテ顯著ナルモ、一般ニ膀胱結核ニ最モ強ク現ハル、モノニシテ、志賀氏ハ127例ニ於テ容量100珄以下ノ萎縮膀胱ハ27例ニ21.2%、100—200珄ノモノ78例ニ61.4%、200珄以上ノモノ22例ニ17.2%ト報告セリ。余ハ膀胱鏡検査不能ノモノ6例ニ2.7%ヲ除キ膀胱容量100珄以下ノ萎縮膀胱ハ41例ニ18.4%、100—200珄ノモノ140例ニ62.3%、健康人容量ニ近キ200珄以上ノモノハ36例ニ16.1%ヲ示シ、志賀氏ノ成績ニホマ接近セリ。

## ニ. 初診時ノ尿中結核菌ノ有無

腎臟及ビ膀胱結核ノ診斷ニ對シテハ、尿中結核菌ノ證明ヲ以テ第一義トナス。然レドモ本疾患ノ特ニソノ早期診斷ニ際シテハ菌ノ證明容易ナラザルコトアリ。

Casper 氏ハ塗抹標本ニテ80%ニ陽性率ヲ擧ゲ、Marion, Eckehorn, Hottinger, Rovsing 氏等モ80.—90%ニ、Kümmell, Frisch, 氏ハ100%ニ陽性ナリト云ヒ、Hottinger 氏ハ193例中155例ニ80.3%ニ陽性ヲ報告シ、阿久津氏ハ80%ノ陽性、小澤、比留間氏ハ37%、村山氏ハ43%、北川、岡部氏ニ依ルトキハ466例中303例ニ65%ニ陽性ナリ。志賀氏ノ127例中塗抹標本證明法ニテ89例ニ70%、ソノ中腎臟摘出ヲ行ヒタル77例ニテハ一層精密ニ檢索シタル結果、ソノ中72例ニ93.5%ニ結核菌ヲ證明シ得タリトナシ、更ニ陰性例中3例ハ閉塞性腎臟炎ナリシ故ニ、コレヲ除ケバ殆ンド100%ニコレヲ證明シ得タルモノト云フヲ得ベシト稱セリ。

余ハ223例中尿中結核菌ヲ證明セシモノ81例ニ37.2%ニシテ小澤、比留間氏ニ近キモ先人諸家ノ成績ニ比シテ甚ダ低率ナルハ余ノ腎臟結核例ハ兩側性ノモノ頗ル多ク、且ツ又膀胱病變モ亦高度ナルモノ多キヨリ考察スルニ、腎臟結核ノ病變進シテ一側ヨリ既ニ他側ニ及ビ從テ乳頭部ノ崩壞著シク多量ノ濃尿ヲ排出スル時期ニ達セルモノ多キニ歸因スルモノナリト思考ス。

## ホ. 膿尿及ビ膿血尿

結核性腎臟ノ病變物ハ尿路ニ依リテ排出セラル、ヲ以テ、必ず先ヅ尿ニ異常ヲ來スハ當然ナリ。故ニ尿ノ所見ヲ缺ク腎臟結核、從テ膀胱結核ハ皆無トモ稱シ得ベシ。故ニコノ症狀ハ必發性ニシテ然モ定型ノナリ。即チ結核病竈ガ腎盂ニ破壞スルカ、或ハ腎盂ニ結核病竈ノ生

ズルトキハ直チニ膿尿ヲ起スベシ。病變ノ初期ニ於テハ膿尿モ輕度ナルモ病勢擴大スルトキハ膿量増加シ、爲メニ濁濁モ強ク、所謂結核尿トナルナリ。余ハ全例中濁濁ノ輕度ナルモノ僅カニ4例ニシテ他ハ何レモ強ク膿尿ヲ呈セリ。

一方血尿ハ多クノ場合膀胱結核ノ爲メ發生スルモノニシテ、膀胱ニ大ナル結核性潰瘍等ノアル際ニハ多量ノ出血ヲ來スコトアレドモ、普通ハ中等量ノ出血ヲ伴フテ膿尿ト混ジテ膿血尿トナルベシ。ソノ量亦毎時一定セズ、時ニハ全ク消失スルコトアリ。即チ血尿ハ排尿時ニ於ケル膀胱壁ノ收縮ノ爲メニ膀胱粘膜ヨリ出血スルニ基クベク、故ニ終末血尿トナルナリ。

志賀氏ハ16.5%ニコレヲ認メタルモ余ハ77例ニ34.4%ニ膿血尿ヲ現症トシテ認メタリ。

## 12. 膀胱ノ結核性病變

膀胱ニ原發スル結核ハ極メテ稀有ニシテ殆ンド凡テ腎臟ヨリ結核尿ノ下流スルガ爲メニ、二次的ニ發生スルモノナリ。故ニ膀胱ニ於ケル結核性病變ノ進行狀態ヲ見ルニ先ヅ最初病變ハ患側腎ノ輸尿管口附近、並ニコレニ對照スル膀胱前上壁ニ發生スルナリ。即チ前者ハ結核菌尿ノ細キ輸尿管口ヨリ排出セラル、爲メニ、或ハ輸尿管末端ノ結核性病變ニ連續シテ起リ、後者ハコノ結核尿線ガ膀胱壁ニ衝突スルガ爲メニ起ルモノナリ。(井上、志賀氏)

コレ等ノ部分ニ先ヅ發赤、充血、或ハ水腫性腫脹ヲ來シ、後ニ粟粒大ノ結節數個發生シ、間モナクコレ等ガ破壞シテ小ナル橢圓形ノ定型ノ結核性潰瘍ヲ生ズベシ。コノ潰瘍ハ次第ニ相癒合シテ、又ソレ自身増大シテ大ナル潰瘍面ヲ形成スルト同時ニ、他方ニ結核性ノ結節ヲ作り、或ハ水腫性腫脹ヲ生ズル等益々増悪シ、ノミナラズコレニ炎症性浸潤モ加ハルニ及ビ病變ハ進ンデ他部ニ蔓延シ、患側輸尿管口附近ヨリ次第ニ同側膀胱壁ニ擴大シ、遂ニハ全膀胱壁ニ波及スルニ至ルベシ。今余ノ實驗例ノ膀胱結核病變程度ヲ次ニ記ス志賀氏ノ膀胱鏡的所見分類法ニ依リ、コレヲ5型ニ分類シテ表示スルトキハ第9表ノ如シ。

- I. 大部分ノ膀胱壁ハ健康ニシテ、只輸尿管口等ニ極メテ輕度ノ病變ヲ呈セル最初期ノモノ。
- II. 前者ヨリ稍々進シタル限局性ノ病變アリテ輕度ノ結核性病變ナルコト明瞭ナルモノ。
- III. 可ナリ廣キ膀胱面ニ結核性病變ヲ呈シ中等度ノ膀胱結核ヲナスモノ。
- IV. 殆ンド全膀胱面ニ擴ガリタル高度ノ結核性病變ヲ呈スルモ、尙輸尿管口ヲ發見シ得ルモノ。

第9表 結核性膀胱病變

膀胱病變	I 型	II 型	III 型	IV 型	V 型	不能
♂	10	38	99	27	3	0
♀	3	6	15	15	1	6
計	13	44	114	42	4	6
%	5.8	19.7	51.2	18.8	1.8	2.7



第 1 0 表

初年 診月	姓名	年 齡	性 別	患 側	職 業	初發時	初發徵候	膀胱 病變	イン ジゴ ー	カル ミン	排出 時間	副 辜 丸	攝 護 腺	内 臟 結 核 症	尿 中 結 核 菌	腎 臟 觸 診	尿 滲 濁	膿 血 尿	排 尿 頻 數	排 尿 痛	膀 胱 容 量
10/ 9/ 2	道○ 榮○	25	♂	左	農	4ヶ月前	血尿 腹痛	III				-	-	+	-	-	卅	卅	+	-	120
16/ 4/ 2	松○ 菊○	18	♂	左	農	3ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				+	+	+	-	+	+	-	+	+	110
17/11/ 2	堂○平○門	23	♂	右	大工	7ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右8' 左3'/10"			+	+	+	-	+	+	+	+	+	100
28/ 3/ 2	廣○茂○郎	56	♂	左	農	1ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				+	+	+	-	+	+	+	+	+	100
11/10/ 2	藤○ 庄○	31	♂	兩	建築業	6ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右14'54" 左3'55"			-	-	-	-	-	卅	+	+	+	120
7/ 7/ 2	本○ ハ○	17	♀	右	醫師家族	1ヶ月前	血尿	IV	右13' 左5'5"			/	/	+	+	+	+	+	+	+	70
13/12/ 2	堀○ タ○	25	♀	左	銀行員	3ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右5' 左5'5"			/	/	+	+	+	+	+	+	+	120
14/ 3/ 2	中○ 乙○	34	♂	右	大工	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				+	+	+	-	-	+	-	+	+	150
1/ 4/ 2	中○ 政○	20	♂	左	無	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	I				-	+	+	-	-	+	+	-	-	300
11/ 4/ 2	仲○ 清○	21	♂	右	農	3ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II				+	+	+	+	+	+	-	+	+	210
28/ 7/ 2	中○藤○郎	28	♂	左	建築業	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II				-	-	-	+	+	+	-	+	+	180
10/11/ 2	中○ 正○	11	♂	兩	農	5ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右7'50" 左8' 8"			-	-	+	?	+	+	+	+	+	70
1/ 1/ 2	金○ 義○	32	♂	左	官吏	6ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				-	+	+	+	+	+	+	+	+	100
3/ 6/ 2	河○ 虎○	47	♂	左	材木商	4ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				-	+	-	-	+	+	-	+	+	140
28/ 7/ 2	河○ 九○	25	♂	右	會社員	4ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II	右14'不出 左7'			-	-	+	+	+	+	+	+	+	180
13/ 1/ 2	尾○ ュ○	25	♀	左	料理業	8ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III				/	/	+	-	+	+	+	+	+	100
20/ 6/ 2	沖○ 保○	25	♂	右	商	6ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II	右8' 左3'45"			-	-	+	+	-	+	-	+	+	130
22/10/ 2	大○ 喜○	23	♂	左	農	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II	右3'45" 左3'45"			-	-	+	?	-	+	+	+	+	150
30/ 3/ 2	山○新○衛	53	♂	左	農	3ヶ年前	尿痛 尿滲濁	III				-	-	-	-	-	+	±	+	+	100
11/10/ 2	坂○ 重○	8	♂	兩	無	3ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右18'不出 左8'25"			+	+	+	+	+	+	+	+	+	70
13/10/ 3	澤○ 他○	28	♂	兩	醫師	2ヶ年前	尿痛 尿滲濁	IV	右15'不出 左13'			兩	+	+	+	+	+	-	+	+	90
21/ 4/ 3	正○ 茂○	22	♂	右	蒔繪	8ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右5'不出 左5'			兩	+	-	+	-	+	+	+	+	120
30/ 4/ 3	鈴 ○ 繁	20	♂	右	金物商	4ヶ月前	腎臟部痛 尿滲濁	III	右6'20" 左6'			-	-	+	-	+	+	-	-	-	230
23/ 4/ 3	關○ 次○	28	♂	左	蠱職	6ヶ月前	腎臟部痛 尿滲濁	III				+	-	+	+	+	+	-	+	+	130
16/ 1/ 3	串○ 康○	24	♂	左	會社員	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右4'20" 左5'30"			-	+	+	-	+	+	+	+	+	150
24/ 3/ 3	橋○ 市○	41	♂	右	農	2ヶ月前	尿痛 尿滲濁	I				兩	+	-	-	-	±	-	-	-	280
24/ 2/ 3	堀○ 次○	48	♂	左	船乘	4ヶ月前	血尿 腹痛	III	右4' 左9'10"			+	-	-	-	+	+	+	+	+	120
28/ 4/ 3	田○ 榮○	42	♂	左	農	5ヶ月前	尿痛 尿滲濁	II	右4'22" 左9'22"			兩	+	+	?	-	+	-	+	+	200
27/ 9/ 3	徳○ 美○	23	♀	兩	商	6ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右19'不出 左17'			/	/	+	?	+	+	+	+	+	140
31/10/ 3	山○幸○郎	22	♂	兩	漆器	7ヶ月前	尿痛 尿滲濁	IV	右10' 左10'50"			-	+	+	-	-	+	+	+	+	80
5/ 1/ 3	吉○ 昌○	19	♂	兩	無	6ヶ月前	尿痛 尿滲濁	III	右25'不出 左10'40"			-	-	+	?	+	+	+	+	+	90
3/ 4/ 3	前○ 勘○	29	♂	兩	米商	2ヶ月前	血尿	III	右10'40" 左4'30"			+	+	-	-	-	+	+	+	+	90

25/ 5/ 3	湊 ○ シ	31 ♀	兩	湯屋	6ヶ月前	尿管痛	III	右24'不出	/	/	+	-	+	卅	±	+	+	100
30/ 8/ 3	井 ○ 慈	31 ♂	左	僧侶	3ヶ月前	尿管痛	II	右3'25''	-	+	+	-	+	+	-	-	+	170
8/ 3/ 3	麥 ○ 務	30 ♂	左	飲食店	3ヶ月前	尿管痛	III	右20'不出	-	-	+	?	+	卅	-	+	+	120
30/ 4/ 3	中 ○ 久 ○ 郎	32 ♂	兩	會社員	6ヶ月前	尿管痛	III	右3'30''	-	-	+	?	-	卅	-	+	+	100
21/ 8/ 3	浪 ○ 久 ○ 20	♂	左	會社員	2ヶ月前	尿管痛	III	右15'不出	+	-	+	+	+	卅	-	+	+	130
22/11/ 3	西 ○ 庄 ○ 24	♂	右	農	1ヶ年前	尿管痛	II		-	-	-	?	+	+	-	+	+	200
29/ 3/ 3	西 ○ 了 ○ 14	♀	兩	農	1ヶ月前	尿管痛	IV	右8'40''	/	/	+	+	+	卅	+	+	+	70
18/ 9/ 3	野 ○ 修 ○ 19	♂	左	學生	3ヶ月前	尿管痛	III	右9'37''	-	-	-	+	-	卅	-	+	+	130
14/ 5/ 3	市 ○ 敏 ○ 33	♂	左	軍人	5ヶ月前	尿管痛	III	右6'10''	+	-	+	+	-	卅	-	+	+	150
31/ 5/ 3	牛 ○ 鍵 ○ 18	♂	右	會社員	3ヶ月前	尿管痛	III	右8'40''	-	+	+	+	-	卅	+	+	+	80
4/ 1/ 4	酒 ○ 甚 ○ 29	♂	左	漁業	7ヶ月前	尿管痛	III	右5'50''	兩	-	-	-	+	+	+	卅	+	120
14/ 1/ 4	坂 ○ 敬 ○ 郎	20 ♂	左	農	5ヶ月前	尿管痛	II	右3'7''	-	+	+	-	+	+	-	-	-	210
5/11/ 4	菅 ○ シ ○ 38	♀	左	農	5ヶ月前	尿管痛	II	右4'50''	/	/	+	-	+	+	-	+	+	200
29/ 1/ 4	加 ○ 一 ○ 24	♂	左	無	4ヶ月前	尿管痛	IV	右不出	-	+	+	-	-	+	+	卅	+	90
27/ 5/ 4	北 ○ 俊 ○ 25	♂	右	無	10日前	尿管痛	III	右10'不出	兩	-	+	+	-	卅	-	卅	+	110
19/ 3/ 4	小 ○ 芳 ○ 27	♂	左	店員	5ヶ月前	尿管痛	III	右4'35''	-	+	+	+	-	+	+	+	+	110
14/10/ 4	小 ○ 興 ○ 33	♂	左	店員	1ヶ年前	尿管痛	IV	右2'50''	-	+	-	-	-	+	±	-	-	200
12/ 1/ 4	山 ○ 樹 ○ 23	♂	左	學生	1ヶ年前	尿管痛	III	右3'25''	+	-	-	+	+	+	+	+	+	100
17/ 7/ 4	山 ○ セ ○ 28	♀	兩	農	2ヶ年前	尿管痛	IV	右4'20''	/	/	-	-	+	+	+	+	±	130
24/ 3/ 4	山 ○ 外 ○ 郎	39 ♂	左	農	6ヶ月前	尿管痛	III	右27'左16'	+	-	+	+	-	+	-	卅	+	100
5/10/ 4	米 ○ 義 ○ 24	♂	左	酒造	6ヶ月前	尿管痛	I	右4'13''	-	-	+	+	+	+	-	-	-	240
19/ 1/ 4	濱 ○ 久 ○ 32	♂	右	漁業	3ヶ月前	尿管痛	II	左不出	-	-	+	-	-	+	-	-	-	200
10/ 4/ 4	橘 ○ ミ ○ 23	♀	左	無	3ヶ月前	尿管痛	II		/	/	+	+	+	+	-	-	-	200
20/ 7/ 4	岡 ○ 龜 ○ 郎	37 ♂	左	農	2ヶ月前	尿管痛	III	右3'左10'不出	兩	-	+	+	-	+	-	-	+	140
15/ 6/ 4	谷 ○ 菊 ○ 郎	34 ♂	左	農	3ヶ月前	尿管痛	III	右3'左12'不出	-	-	+	-	+	卅	-	+	+	120
10/ 6/ 4	中 ○ 正 ○ 25	♂	左	官吏	6ヶ月前	尿管痛	II		-	+	-	-	-	+	-	卅	+	150
1/10/ 4	中 ○ 義 ○ 22	♂	右	無	10ヶ月前	尿管痛	II		-	+	+	+	-	+	-	-	-	200
18/11/ 4	新 ○ 乙 ○ 23	♂	右	農	1ヶ年前	尿管痛	II		-	+	+	-	+	卅	-	+	-	140
8/ 4/ 4	田 ○ 八 ○ 30	♂	右	農	2ヶ年前	尿管痛	II	右7'25''	-	-	+	-	+	卅	-	+	+	190
22/ 4/ 4	辻 ○ 三 ○ 24	♂	左	無	7ヶ月前	尿管痛	III	右3'45''	-	-	+	+	-	卅	-	+	+	140
5/11/ 4	松 ○ 清 ○ 19	♂	右	軍人	3ヶ月前	尿管痛	I	右8'左6'	-	-	+	+	-	+	+	+	+	220
19/ 6/ 4	三 ○ 三 ○ 郎	39 ♂	左	大工	2ヶ月前	尿管痛	II	右5'左16'20''	-	+	+	+	-	+	-	+	+	170
6/ 8/ 4	森 ○ 三 ○ 37	♂	左	漁業	2ヶ月前	尿管痛	II		-	-	-	+	-	+	-	+	+	130
10/ 2/ 4	笠 ○ 梅 ○ 28	♂	左	農	1ヶ年前	尿管痛	III	右3'30''	-	+	-	-	+	+	-	+	+	120
22/ 7/ 4	石 ○ 次 ○ 15	♂	右	農	3ヶ月前	尿管痛	III	右3'左9'不出	-	-	+	-	+	+	+	+	+	90
18/ 2/ 4	大 ○ 要 ○ 27	♂	左	官吏	10ヶ月前	尿管痛	II		-	-	+	-	-	+	-	+	+	200
28/ 1/ 5	俄 ○ 米 ○ 24	♀	左	農	2ヶ月前	尿管痛	III		/	/	+	+	+	卅	+	+	+	100

15/ 1/ 5	荒○菊○29	♂左	農	1ヶ年前	尿管痛	III	右 3'35"	-	+	+	-	+	+	-	+	+	100
27/ 9/ 5	武○勝○26	♂左	吳服	2週間前	尿管痛	IV	右 3'20"	-	+	+	-	-	+	+	+	±	140
11/11/ 5	谷○助○42	♂兩	農	4日前	尿管痛	II	右 4'25"	-	+	-	+	-	+	+	+	+	200
24/10/ 5	北○テ○20	♀左	農	1ヶ年半前	尿管痛	III	右 10'	/	/	+	+	+	+	-	+	+	120
21/ 5/ 5	中○外○29	♂右	農	2ヶ月前	尿管痛	II	右 10'不出	-	-	-	-	+	-	-	-	-	150
7/ 8/ 5	仲○清○24	♂右	無	3ヶ月前	尿管痛	III	右 3'30"	+	+	+	-	-	+	-	+	+	130
8/ 9/ 5	天○順○32	♂兩	官吏	10ヶ月前	尿管痛	III	右 10'30"	-	+	+	+	+	+	-	+	+	120
5/ 6/ 5	水○作○39	♂右	雜貨	8ヶ月前	尿管痛	III	右 12'不出	-	-	+	+	-	+	-	±	-	120
14/ 4/ 5	林○二○36	♂左	農	2ヶ月前	尿管痛	III	右 8'40"	兩	+	+	-	-	+	+	+	+	120
27/ 3/ 5	福○ユ○39	♀右	古物商	5ヶ月前	尿管痛	III	右 4'4'	/	/	+	-	+	+	-	+	+	110
4/ 1/ 5	坂○久○23	♂兩	無	3ヶ月前	尿管痛	III	右 4'	+	-	+	-	-	+	-	+	+	130
12/ 5/ 5	佐○武○38	♂兩	雜貨	1年2ヶ月前	尿管痛	III	右 6'不出	-	+	+	-	+	+	-	+	+	120
8/ 4/ 5	柴○喜○17	♂左	無	2ヶ月前	尿管痛	III		+	-	+	-	-	+	-	+	+	100
13/ 6/ 5	關○雄○22	♂左	農	2ヶ月前	尿管痛	III		-	+	+	+	+	+	+	+	+	100
15/ 4/ 5	矢○登○25	♂右	店員	4日前	尿管痛	I	右 4'5"	+	-	+	+	+	+	-	-	-	230
7/ 9/ 6	池○清○22	♂兩	公吏	6ヶ月前	尿管痛	III		+	+	+	-	+	+	-	+	+	140
10/ 1/ 6	岡○茂○33	♂左	藥種	3ヶ月前	尿管痛	III		+	+	+	-	-	+	-	+	+	100
27/ 3/ 6	岡○秋○24	♂右	農	1ヶ年前	尿管痛	IV		-	+	+	-	+	+	-	+	+	90
30/ 7/ 6	奥○耕○34	♂左	農	4ヶ月前	尿管痛	III	右 4'	-	+	+	+	-	+	-	+	+	100
25/ 8/ 6	雄○夕○23	♀左	農	3ヶ年前	尿管痛	II	右 4'55"	/	/	+	-	+	+	-	±	-	140
29/ 8/ 6	前○ハ○32	♀兩	農	5ヶ月前	尿管痛	IV	右 15'不出	/	/	-	+	+	+	-	+	+	80
26/ 8/ 6	川○榮○郎46	♂左	農	2週間前	尿管痛	III		+	+	-	+	-	+	-	-	-	150
25/ 4/ 6	小○宗○18	♂右	農	10日前	尿管痛	I	右 5'3'15"	-	-	+	?	+	+	+	-	-	250
26/12/ 6	小○秀○20	♀左	農	5ヶ月前	尿管痛	IV		/	/	+	?	+	+	-	+	+	120
6/ 1/ 6	橋○し○31	♀左	農	1ヶ年前	尿管痛	IV	右 4'15"	/	/	+	+	+	+	-	+	+	70
15/ 4/ 6	福○松○30	♂兩	農	6ヶ月前	尿管痛	III	右 12'不出	-	+	+	-	-	+	-	+	+	110
3/10/ 6	舟○平○郎17	♂左	農	3ヶ月前	尿管痛	III	右 5'10'	-	+	+	-	-	+	-	+	+	120
2/ 7/ 6	本○文○21	♂左	農	3ヶ月前	尿管痛	III	右 6'20"	+	-	+	-	+	+	-	+	+	100
7/ 3/ 6	竹○石○22	♂兩	農	6ヶ月前	尿管痛	IV	右 5'30"	-	+	+	+	+	+	+	+	+	80
3/ 3/ 6	下○佐○郎26	♂右	肥料	2ヶ月前	尿管痛	III	右 4'50"	-	+	+	+	-	+	+	+	+	120
9/ 1/ 6	鈴○長○郎65	♂左	無	1ヶ月前	尿管痛	III		+	+	+	-	-	+	-	+	+	100
20/ 4/ 6	高○政○23	♂左	建築	2ヶ月前	尿管痛	III	右 3'	-	+	+	+	+	+	-	+	+	100
27/ 7/ 7	中○龍○22	♂左	大工	1ヶ月前	尿管痛	III	右 2'50"	-	-	+	-	+	+	-	+	+	120
5/ 7/ 7	峠○太○43	♂左	雜穀	1ヶ年前	尿管痛	IV	右 4'	-	-	+	-	-	+	-	+	+	90
14/12/ 7	佐○武○32	♂左	農	5ヶ月前	尿管痛	IV	右 4'5"	+	+	+	-	+	+	-	+	+	100
12/ 1/ 7	神○市○61	♂左	農	2ヶ月前	尿管痛	II	右 4'45"	+	+	+	+	-	+	-	-	-	170
23/ 5/ 7	清○美○19	♀右	農	8ヶ月前	尿管痛	III	右 13'9"	/	/	+	-	+	+	-	+	+	100

21/ 6/ 7	山○進○17	♂	兩	農	6ヶ月前	尿血尿	類尿管痛	V	右20'不出 左	-	-	+	-	+	+	+	+	+	30
29/ 3/ 7	金○キ○41	♀	左	小使	2ヶ月前	下腹痛	尿管痛	I		/	/	-	-	+	±	-	-	-	250
23/ 5/ 7	鹿○正○23	♂	兩	理髮	2ヶ月前	尿血尿管痛	類尿管痛	III	右15'不出 左	-	-	+	+	-	+	-	+	+	100
9/ 9/ 7	川○米○24	♀	右	醫師族	6ヶ月前	尿血尿管痛	類尿管痛	IV	右11'不出 左4'25"	/	/	+	-	+	+	+	+	+	80
12/ 2/ 7	久○太○29	♂	左	教員	1ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右3'不出 左	-	+	+	+	-	+	+	+	+	120
3/12/ 7	黒○太○50	♂	左	農	7ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右4'6' 左6'45"	+	+	+	-	+	+	-	+	+	110
19/ 1/ 7	梧○孝○25	♂	兩	賣藥	5ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右8'45" 左9'	-	+	+	-	-	+	-	±	-	90
16/ 9/ 7	前○義○20	♂	右	農	3日前	尿管痛	類尿管痛	I		-	-	-	-	-	+	+	-	-	250
22/11/ 7	三○無○31	♂	左	僧侶	1ヶ年前	尿管痛	類尿管痛	IV		-	+	-	-	+	+	-	+	+	100
19/ 2/ 7	上○豊○28	♂	左	仕立業	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II		-	-	+	+	-	+	-	+	+	200
20/ 4/ 7	尾○信○郎27	♂	兩	農	2ヶ年前	尿管痛	類尿管痛	III	右12'不出 左4'40"	-	±	+	-	+	+	+	+	+	110
6/ 5/ 8	上○直○46	♂	兩	農	4ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III		-	+	+	+	-	+	-	+	+	110
18/10/ 8	大○清○41	♂	左	農	1週間前	尿管痛	類尿管痛	III	右3'48" 左不出	-	+	+	±	-	+	-	+	+	120
18/12/ 8	大○幸○28	♂	兩	農	4ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右6'10" 左6'53"	-	+	+	-	+	+	+	+	+	80
7/ 7/ 8	金○キ○29	♀	兩	會社員	7ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右7'25" 左11'不出	/	/	-	-	-	+	-	±	-	200
9/ 5/ 8	小○カ○37	♀	右	醫師族	2ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II	右3'15" 左2'55"	/	/	-	-	+	+	-	+	-	160
9/ 5/ 8	小○彌○31	♂	兩	銅器	6ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右6' 左不出	-	-	+	-	-	+	+	+	+	120
9/ 6/ 8	中○直○20	♂	兩	吳服	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II	右10'45" 左10'20"	-	+	+	-	+	+	-	-	-	140
12/ 8/ 8	中○吉○30	♂	兩	農	2ヶ年前	尿管痛	類尿管痛	III	右8' 左6'40"	兩	-	+	-	+	+	-	+	+	110
7/ 2/ 8	西○義○33	♂	左	農	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右3'20" 左8'不出	兩	+	+	-	+	+	+	+	+	70
5/ 1/ 8	佐○藤○33	♂	左	農	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右4' 左不出	+	+	+	-	-	+	-	+	+	110
10/ 8/ 8	多○國○24	♂	左	農	2ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右3'45" 左10'不出	-	+	+	+	-	+	+	+	+	100
6/ 8/ 8	坂○長○32	♂	左	料理	1ヶ年前	尿管痛	類尿管痛	III		-	+	-	-	+	+	-	-	+	200
30/ 8/ 8	前○幸○20	♂	左	社員	4ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II		-	-	-	±	+	+	-	+	+	200
5/12/ 8	松○次○郎37	♂	左	農	5ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II		兩	+	+	?	-	+	-	+	+	140
7/12/ 8	松○誠○36	♂	右	教員	1ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	I		-	-	-	-	+	+	+	+	+	130
29/ 5/ 8	養○五○郎22	♂	左	官吏	2ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II	右3'30" 左4'30"	-	±	-	-	-	+	-	-	-	200
7/ 8/ 8	村○惣○郎15	♂	左	農	4ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	II		-	-	-	-	+	±	-	-	-	180
17/ 8/ 8	本○興○21	♂	兩	漁業	9ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右9'不出 左	+	-	+	+	+	+	+	-	-	90
1/ 5/ 8	高○豊○23	♂	兩	大工	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	V		-	+	+	-	-	+	+	+	+	30
1/ 5/ 8	武○三○35	♂	兩	賣藥	4ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右4'17" 左4'40"	-	+	+	+	-	+	-	+	+	110
19/10/ 8	田○松○22	♂	左	事務員	2ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右4'40" 左10'不出	-	-	-	+	+	+	-	+	+	120
7/12/ 8	堂○七○郎38	♂	左	農	9ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右3'50" 左不出	-	+	+	-	+	+	-	+	+	90
19/ 3/ 9	山○清○26	♂	兩	學生	6ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV	右11'25" 左11'40"	-	-	+	-	+	+	-	+	+	100
21/ 7/ 9	山○美○42	♂	兩	農	6ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	IV		+	+	+	-	+	+	+	+	+	80
18/ 3/ 9	御○田○ツ○40	♀	右	農	3ヶ月前	尿管痛	類尿管痛	III	右不出 左7'	/	/	+	-	+	+	-	+	+	100

22/ 5/ 9	吉○庄○47	♂左	陶器	1ヶ年前	血尿	尿管痛	III	右 3'44" 左 不出	兩	+	+	-	+	+	-	+	+	110	
28/ 4/ 9	櫻○郁○38	♂左	僧侶	1ヶ年前	血尿	尿管痛	III		兩	+	+	-	+	+	-	+	+	100	
4/ 8/ 9	坂○賢○郎21	♂兩	農	20日前	血尿	尿管痛	II	右 8'不出 左 不出	-	+	+	-	-	+	-	+	+	200	
14/11/ 9	砂○雪○31	♀左	農	3ヶ月前	血尿	尿管痛	IV	右 2'53" 左 不出	/	/	+	-	+	+	+	+	+	90	
13/ 6/ 9	田○万○47	♂右	農	3ヶ月前	血尿	尿管痛	V		兩	+	+	±	+	+	-	+	+	40	
15/ 8/ 9	高○ソ○45	♀右	鐵器	1年7ヶ月前	血尿	尿管痛	IV	右 7' 左 4'55"	/	/	+	±	+	+	+	+	+	70	
13/10/ 9	高○ハ○20	♀左	米商	1年半前	血尿	尿管痛	IV	右 3'30" 左 不出	/	/	+	-	+	+	-	+	+	100	
12/ 5/ 9	川○進○24	♂兩	農	1ヶ月前	血尿	尿管痛	III		-	-	+	+	+	+	+	+	+	100	
22/ 5/ 9	川○恒○26	♂左	鮮魚	2ヶ月前	血尿	尿管痛	III	右 3'30" 左 6'30"	-	+	+	-	+	+	-	+	+	100	
26/ 4/ 9	小○海○喜30	♂左	漆器	2ヶ月前	血尿	尿管痛	III		+	+	+	-	-	+	+	+	+	110	
10/ 7/ 9	小○助○郎36	♂左	農	1ヶ年前	尿	尿管痛	II	右 2'20" 左 10'不出	-	+	+	+	+	+	-	-	-	220	
25/ 6/ 9	上○芳○24	♀右	會社員	2ヶ月前	尿	尿管痛	III	右 10'不出 左 6'20"	/	/	+	-	+	+	+	+	+	120	
3/ 8/ 9	馬○捨○郎34	♂右	會社員	1週間前	腎臟部痛	尿管痛	II	右 3'12" 左 4'	兩	-	+	-	+	+	-	+	+	160	
24/ 8/ 9	女○ミ○ヲ31	♀兩	教員	2ヶ月前	腎臟部痛	尿管痛	II	右 3'15" 左 8'	/	/	+	+	+	+	+	-	±	-	170
19/ 5/ 9	奥○恒○21	♂右	塗師	5ヶ月前	腎臟部痛	尿管痛	IV	右 4'20" 左 6'10"	-	+	+	+	+	+	+	+	+	90	
21/ 9/ 9	荻○千○18	♀右	學生	2週間前	腎臟部痛	尿管痛	I	右 3'10" 左 3'30"	/	/	+	-	-	+	-	-	-	210	
31/ 3/ 9	林○太○31	♂右	農	2ヶ月前	尿	尿管痛	III	右 3'30" 左 不出	-	+	+	±	-	+	-	-	-	190	
22/ 1/ 9	廣○政○23	♂兩	魚商	2週間前	尿	尿管痛	不能		-	-	+	±	+	+	+	+	+	/	
4/ 9/ 9	杉○信○19	♂右	印刷	2ヶ月前	血尿	尿管痛	IV	右 不出 左 4'	-	+	+	+	+	+	+	+	±	+	120
28/ 9/ 9	道○田○29	♂右	大工	7日前	血尿	尿管痛	III	右 7'36" 左 5'55"	兩	+	+	-	+	+	-	±	+	130	
20/ 3/ 9	淺○文○20	♂右	學生	2ヶ月前	血尿	尿管痛	III	右 5'24" 左 3'	-	-	+	+	-	+	-	-	-	130	
4/ 6/ 9	明○他○郎34	♂左	建具	3ヶ月前	血尿	尿管痛	II	右 3'39" 左 10'不出	-	-	-	-	+	+	-	+	+	170	
10/ 1/ 9	井○次○郎57	♂兩	大工	2ヶ月前	血尿	尿管痛	III	右 11'10" 左 6'30"	-	+	+	-	+	+	-	+	+	120	
6/ 3/ 6	井○保○19	♂左	自動車 自運轉	1ヶ月前	血尿	尿管痛	II	右 4'40" 左 10'不出	-	-	+	-	-	+	+	±	+	160	
29/ 5/ 9	石○常○25	♂右	僧侶	3ヶ月前	血尿	尿管痛	III	右 10'不出 左 3'15"	-	+	+	-	-	+	-	+	+	130	
25/ 6/ 9	往○惣○郎37	♂左	農	2ヶ年前	血尿	尿管痛	III	右 5' 左 10'不出	+	+	+	+	-	+	-	+	+	100	
16/ 1/10	高○ハ○31	♀兩	教員	4ヶ月前	腎臟部痛	尿管痛	IV	右 10'20" 左 6'45"	/	/	+	±	-	+	+	+	+	70	
30/ 7/10	竹○星○40	♂右	農	6ヶ月前	血尿	尿管痛	III		-	-	-	-	-	+	+	+	+	120	
9/11/10	高○長○35	♂左	農	3ヶ月前	血尿	尿管痛	III	右 2'53" 左 10'不出	兩	+	+	+	-	+	-	+	+	100	
9/11/10	土○ス○30	♀兩	無	1週間前	尿	尿管痛	III	右 10'不出 左 10'不出	/	/	+	-	-	+	-	±	±	120	
19/ I2/11	通○重○33	♂兩	機業	1ヶ月前	尿	尿管痛	III	右 10'不出 左 10'不出	-	±	+	-	+	+	-	-	-	120	
12/ 1/10	松○正○21	♂左	木炭	9ヶ月前	尿管痛	尿管痛	III	右 5'40" 左 4'	-	+	+	-	-	+	+	+	+	100	
21/ 2/10	前○靜○17	♂兩	生徒	3ヶ月前	尿管痛	尿管痛	不能		-	-	+	-	+	+	-	+	+	/	
20/ 5/10	馬○福○8	♂右	農	1ヶ年前	尿管痛	尿管痛	不能		-	-	+	-	-	+	-	+	+	/	
3/ 8/10	牧○フ○19	♀右	會社員	6ヶ月前	尿管痛	尿管痛	III	右 7'30" 左 3'30"	/	/	+	+	+	+	-	+	+	120	
12/ 8/10	松○仁○26	♂右	無	5ヶ月前	尿管痛	尿管痛	III	右 10'不出 左 5'20"	-	+	+	+	+	+	-	±	+	100	

29/ 8/10	水○常○62	♂右	無	5ヶ月前	泌尿	II	右7'不出 左3'30''	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	120
18/ 7/10	村○正24	♂右	農	4ヶ月前	泌尿	II	右8'20'' 左5'18''	-	+	+	±	-	+	-	+	+	+	+	200
31/ 5/10	官○公○29	♂左	農	1ヶ月前	泌尿	II	右3'30'' 左8'不出	兩	+	+	-	+	±	-	±	+	+	200	
19/11/10	橋○龍○20	♂右	學生	2ヶ月前	泌尿	III	右8'不出 左8'3'	-	+	+	-	+	±	-	+	+	+	100	
25/10/10	藤○清○32	♂兩	昆布	1ヶ年前	泌尿	不能		+	-	+	-	+	+	+	+	+	+	/	
29/ 3/10	北○好○38	♂左	會社員	2ヶ月前	泌尿	III	右2'52'' 左9'	-	±	+	-	-	+	-	+	+	+	120	
22/ 8/10	北○憲○郎45	♂右	農	4ヶ月前	泌尿	III	右10'不出 左4'15''	兩	+	+	-	+	+	-	+	±	±	120	
6/ 9/10	木○口○37	♂左	農	10ヶ月前	泌尿	III		兩	+	+	-	+	+	+	+	+	+	100	
15/ 2/10	久○榮○36	♂右	商	3ヶ月前	泌尿	IV	右7'15'' 左3'30''	+	+	+	±	+	+	+	+	+	+	100	
26/ 6/10	中○外○23	♂左	鐵工	1ヶ年前	泌尿	IV	右3' 左10'不出	兩	+	+	±	+	+	+	+	+	+	90	
13/12/10	中○誓22	♂左	會社員	9ヶ月前	泌尿	III		兩	+	+	-	+	+	+	±	+	+	100	
8/ 8/10	中○入○22	♀兩	無	3ヶ月前	泌尿	IV	右9'19'' 左不出	/	/	+	+	+	+	+	+	+	+	80	
23/ 2/10	西○重○19	♂右	農	3ヶ月前	泌尿	IV	右7'25'' 左7'52''	+	+	+	-	+	±	-	±	±	±	50	
5/11/10	和○ト○エ23	♀右	無	3ヶ月前	泌尿	II	右不出 左3'38''	/	/	+	+	+	+	+	-	+	+	140	
20/ 3/10	酒○義○21	♂右	理髮	4ヶ月前	泌尿	I		-	-	+	+	+	±	-	+	+	+	200	
6/ 3/10	篠○信○22	♂左	職工	6ヶ月前	泌尿	III	右4'20'' 左9'30''	-	+	+	±	+	+	-	±	+	+	100	
7/ 8/10	白○徹17	♂兩	無	6ヶ月前	泌尿	IV		-	-	+	-	+	+	+	±	±	+	90	
6/ 9/10	上○武○32	♂兩	農	8ヶ月前	泌尿	不能		+	+	+	±	+	+	+	±	±	+	/	
20/ 5/11	石○幸○30	♂右	農	4ヶ月前	泌尿	III	右不出 左3'25''	-	+	+	-	+	+	-	±	±	+	100	
12/ 5/11	伊○ト○24	♀兩	無	2ヶ月前	泌尿	IV	右12'不出 左6'15''	/	/	+	-	+	+	-	-	+	+	100	
31/ 8/11	太○夕○28	♀右	理髮	1ヶ月前	泌尿	III	右4'55'' 左3'41''	/	/	+	-	+	+	+	±	±	+	100	
20/ 3/11	大○信○郎29	♂左	雜貨	5ヶ月前	泌尿	IV	右10'不出 左6'15''	兩	+	+	+	-	±	-	+	+	+	70	
4/ 5/11	坂○虎○35	♂右	食料品	9ヶ月前	泌尿	III	右2'15'' 左5'40''	-	+	+	-	-	+	+	+	±	±	100	
28/10/11	酒○忠○19	♂兩	農	6ヶ月前	泌尿	II	右7'10'' 左3'45''	-	-	+	+	±	±	-	-	-	-	230	
10/ 7/11	松○カ○26	♀右	女工	1週間前	泌尿	III	右3'20'' 左3'50''	/	/	-	-	-	+	-	±	±	+	100	
17/ 6/11	中○要○26	♂右	會社員	4ヶ月前	泌尿	III	右3'50'' 左3'43''	-	+	-	-	+	±	-	-	-	-	140	
9/ 4/11	柿○金○郎32	♂兩	農	1ヶ年前	泌尿	III		-	+	+	-	-	+	+	+	+	+	100	
23/ 3/11	安○富○郎33	♂左	麻布	1ヶ月前	泌尿	I	右3'15'' 左4'	兩	+	+	-	-	±	-	-	-	-	250	
21/10/11	山○清23	♂左	職工	3ヶ月前	泌尿	III	右2'27'' 左5'30''	兩	+	+	-	+	+	-	-	-	-	160	
23/ 4/11	山○ヨ○ノ27	♂左	農	3ヶ月前	泌尿	IV	右4'17'' 左6'	/	/	+	-	+	-	±	±	+	+	70	
14/ 1/11	中○留○47	♂兩	農	5ヶ月前	泌尿	III		+	+	+	-	+	+	-	±	±	+	90	
23/ 1/11	加○武○25	♂右	農	10ヶ月前	泌尿	III		兩	±	+	-	+	±	-	+	+	+	100	
11/ 3/11	内○量○18	♂兩	無	1ヶ年前	泌尿	IV	右6'35'' 左不出	-	±	+	-	-	+	-	+	+	+	100	
14/ 9/11	向○雄25	♂兩	農	10ヶ月前	泌尿	III	右13'不出 左不出	兩	±	+	-	+	+	-	+	+	+	100	
7/ 4/11	杉○ヨ○エ21	♀右	教員	3ヶ月前	泌尿	IV	右不出 左5'40''	/	/	+	-	+	±	-	+	+	+	70	
14/ 8/11	本○幸○31	♂兩	農	1ヶ年前	泌尿	II		兩	+	+	-	+	+	-	-	-	-	200	

16/ 4/11	宮○キ○25	♀	兩	無	3ヶ年前	血腰痛	尿管痛	V	右左	10'不出	/	/	+	-	+	++	+	++	+	40
26/ 6/11	宮○三○郎49	♂	左	醬油	4ヶ月前	尿管痛	尿管痛	IV			+	+	+	-	-	+	-	++	+	90
25/ 9/11	寺○權○23	♂	右	農	1ヶ年前	尿管痛	尿管痛	IV	右左	8'不出 3'20''	-	+	+	-	+	+	-	+	+	100
18/ 7/11	宮○久○39	♂	左	軍人	9ヶ月前	尿管痛	尿管痛	II	右左	3'50'' 10'不出	-	+	+	+	+	+	-	-	-	200
31/ 8/11	高○喬○13	♂	兩	農	1ヶ月前	尿管痛	尿管痛	不能			-	+	+	++	-	++	-	++	+	/
14/11/11	谷○又○衛45	♂	左	獣	1ヶ月前	尿管痛	尿管痛	III	右左	3'26'' 4'32''	+	+	+	+	-	+	-	+	+	120
19/12/11	谷○ミ○リ21	♀	左	農	9ヶ月前	尿管痛	尿管痛	I	右左	2'27'' 5'17''	/	/	+	-	+	++	-	-	+	230
13/ 4/11	竹○吉○郎35	♂	兩	織物	3ヶ月前	尿管痛	尿管痛	IV	右左	5'25'' 6'15''	+	+	+	-	+	+	-	++	+	80
7/ 1/11	小○昌○28	♂	左	無	3ヶ月前	尿管痛	尿管痛	III	右左	3'15'' 10'不出	-	-	+	+	+	+	+	+	+	100

V. 極度ノ膀胱結核ニテ膀胱容量甚シク減少シ辛ウジテ膀胱検査ヲ施行シ得ルカ、又ハ全ク萎縮膀胱ヲ呈スルモノ。

以上ニ依リ余ノ例ヲ分類シタルモノ即チ第9表ヲ見ルニ、III型ニ屬スルモノ最モ多ク約半數ヲ占メ、IVコレニ次ギV型最モ少シ。但シ女性ニ於テハIV型ハ比較的ニ多ク女性40例中15例ニ37.7%トナル。尙表中ニ不能トアルハ膀胱容量甚少ノモノ、或ハ患者ノ苦痛劇シク膀胱鏡検査ヲ施行シ得ザリシモノナリ。

尙以上各章ニ涉リテ述ベタル所ヲ綜括シテ表示スルトキハ第10表トナルベシ。

### 13. 摘出腎ニ就テ

以上ニ依リ當金澤醫大泌尿器科ニ於ケル腎臟及ビ膀胱結核ニ對スル統計的觀察ヲ記載シ終レリ。然リト雖モ更ラニ手術ニ依リ摘出シタル腎臟ニ就キ輸尿管病變、又ハ腎臟病變程度ト膀胱病變トノ比較ニ就キ検索セムトシテ、泌尿器科教室保存ニカハル結核腎ノ摘出セルモノ中、病歴ソノ他ノ明カニシテ且ツ標本ノ完全ナルモノノミ23例ニ就キ、コレヲ觀察シテ以テ表トナシ、第11表ヲ作成セリ。以下コノ表中ノ各項目ニ涉リテ詳記説明セムトス。

輸尿管及ビ輸尿管腔ノ病變

波戸氏ノ輸尿管病變分類ニ從ヒ、ソノ管壁肥厚ノ程度ヲ次ノ如ク定メタリ。

輸尿管断面ノ太サ。

分類名	普通大	鉛筆大	小指頭大	中指頭大	拇指頭大	拇指頭大以上
分類記號	0	I	II	III	IV	V
直徑 (mm)	3-5	5-8	8-10	10-12	12-15	15以上

次ニ輸尿管腔ノ病變分類(波戸氏ニ依ル)

I. 正常通過性 輸尿管粘膜ニ著變ナク管腔モ正常大ノ通過性ナルモノ。

II. 結核性擴張 管腔及ビ粘膜面ニ結核結節、又ハ結核性潰瘍ヲ散見シ、然モ管腔ハ却テ正常ヨリモ稍々擴張セルモノ。

第 1

手術年月日	姓名	年齢	性別	患側	結核腎臓病									
					大サ(種)	重量(瓦)	病變分類	表面						
								被膜肥厚	結核性結	結起性隆	囊狀膨隆	萎縮竈	乳頭乾酪	崩壊
1/ 8/ 2	河○九○	25	♂	右	8.1×5.7×5.1	137	IV	-	-	-	+	-	+	+
22/12/ 2	堀○夕○	25	♀	左	10.2×7.0×5.3	205	IV	+	-	+	-	-	++	+
28/ 1/ 3	串○康○	24	♂	左	8.3×6.5×4.0	125	II	-	-	-	-	-	+	+
28/ 4/ 3	麥○務○	30	♂	左	10.3×7.5×7.2	315	IV	+	+	+	++	-	+++	++
7/ 9/ 3	井○慈○	31	♂	左	9.7×6.5×6.0	195	IV	+	-	-	+	-	+	+
17/ 3/ 4	小○芳○	27	♂	左	9.8×6.6×5.6	173	IV	+	++	+	+	-	++	+
30/ 7/ 4	岡○龜○郎	37	♂	左	9.4×5.8×5.4	145	IV	+	+++	++	-	+	+	++
23/ 4/ 4	山○樹○	23	♂	左	10.6×5.1×5.7	210	IV	-	-	-	++	-	++	++
21/ 6/ 4	谷○菊○郎	34	♂	左	11.6×5.5×5.9	225	IV	+	++	++	++	-	+	++
5/10/ 4	米○義○	24	♂	左	9.3×5.2×4.6	105	II	-	-	-	+	-	+	-
17/11/ 4	松○清○	19	♂	右	8.8×5.1×4.4	123	IV	-	+	+	-	-	+	++
21/ 1/ 5	荒○菊○	29	♂	左	11.7×6.2×5.7	197	IV	+	+	+	++	+	+++	+++
8/ 5/ 6	高○政○	23	♂	右	10.7×8.1×7.3	260	V	+	-	-	+++	+	+++	++
2/ 2/ 7	久○太○	29	♂	左	10.4×6.7×7.7	260	IV	+	+	+	+	-	++	+
13/ 1/ 8	佐○藤○	33	♂	左	8.8×5.1×4.9	143	IV	+	+	-	++	+	++	+
23/ 5/ 8	小○カ○	37	♀	右	8.8×5.2×4.1	95	IV	-	±	-	+	-	+	±
17/ 8/ 8	多○國○	24	♂	左	9.5×5.7×5.2	185	IV	+	++	+	-	+	++	++
23/ 3/ 9	御○田○ツ	40	♀	右	11.2×6.1×6.4	240	IV	-	+	-	+	-	+	+
29/ 5/ 9	川○恒○	26	♂	左	10.0×5.8×5.1	155	IV	-	+	+	-	+	+	+
15/ 8/10	牧○フ○	19	♀	右	9.3×5.7×4.7	145	IV	+	+	+	-	-	++	++
5/ 9/10	水○常○	62	♂	右	9.3×5.7×5.4	137	III	-	±	-	-	±	++	+
7/ 8/10	小○昌○	28	♂	左	9.7×5.3×4.6	123	IV	-	+	+	+	+	+	+
28/ 1/12	田○初○郎	23	♂	右	10.7×7.3×6.1	290	IV	+	++	+	++	+	++	+

III. 結核性狭小 管腔内面ニハ相當ニ結核性病變アリ。ソノ1ヶ所又ハ數ヶ所ノ癆痕性ニ、又ハ纖維性ニ萎縮シテ管腔ノ狭小ヲ來セルモノ。

IV. 乾酪性擴張 管腔内面ニ多發セル結核竈ガ著明ノ乾酪崩壊ヲ示シ、高度ノ結核病變ヲ呈シ管腔ハ却テ正常ヨリ擴張セルモノ。

V. 乾酪性狭小 病變末期ニシテ管腔内面ノ結核竈ハ乾酪性壞死ニ陥リ、或ハ隨所ニ癆痕收縮ヲ營ムカ、又ハ管腔内ニ乾酪物質ガ充填サレテ管腔狹隘ヲ來シ殆ンド閉塞ニ近キモノ。

コノ他表中ノ膀胱病變程度ハ先ノ志賀氏ノソレニ依レリ。



1 表

變 所 見						輸 尿 管		膀 胱 病 變 分 類	イ ン シ ン 排 出 時 間	合 併 症			臨 床 所 見					
實 質 萎 縮	割 面					腎 盂 病 變	肥 厚 分 類			管 腔 病 變 分 類	副 睪 丸 結 核	攝 護 腺 結 核	結 核 性 疾 患	尿 中 結 核 菌 證	患 腎 觸 診	排 尿 頻 數	血 尿 (膿 血 尿)	排 尿 痛
	豌 豆 大	櫻 桃 大	胡 桃 大	鳩 卵 大	雞 卵 大													
-	+	+	+	-	-	+	II	乾酪性狹小	II	右14'不出 左7'5'	-	-	+	+	+	+	+	+
-	+	+	+	+	-	+	III	乾酪性狹小	III	右5'不出 左4'20''	/	/	+	+	+	+	+	+
-	-	-	-	-	-	-	I	結核性擴張	III	右5'30'' 左3'30''	-	+	+	-	+	+	+	+
-	+	+	+	+	-	+	I	乾酪性狹小	III	右3'25'' 左20'不出	-	+	+	-	+	-	-	+
-	-	-	-	-	-	+	II	乾酪性狹小	III	右2'50'' 左3'	-	+	+	+	-	+	+	+
-	+	+	+	+	-	+	IV	乾酪性狹小	III	右10'少シ 左4'20''	兩	-	+	+	-	-	-	+
-	+	+	+	+	-	+	III	乾酪性狹小	III	右3' 左12'不出	+	-	+	+	+	+	+	+
-	+	+	+	+	-	+	I	" "	III	右4'13'' 左8'少シ	-	-	+	+	+	-	-	-
-	+	+	-	-	-	+	II	乾酪性狹小	I	右6' 左3'35''	-	-	+	+	-	+	+	+
-	+	+	+	+	+	+	III	" "	III	右8'不出 左4'10''	-	-	+	-	+	+	+	+
-	+	+	+	+	+	+	III	" "	III	右3' 左4'	-	+	+	+	-	+	+	+
-	+	+	+	-	-	+	II	" "	III	右3'15'' 左2'55''	+	+	+	-	+	+	+	+
-	+	+	+	-	-	+	I	" "	II	右3'45'' 左10'不出	/	/	+	-	+	+	-	-
-	+	+	+	+	-	+	II	結核性擴張	III	右7' 左3'30''	/	/	+	-	+	+	-	+
+	+	+	+	-	-	+	V	乾酪性狹小	I	右6'30'' 左7'30''	-	+	+	-	+	+	-	+
+	+	+	+	-	-	+	I	結核性擴張	III	右3'30'' 左7'不出	/	/	+	+	+	+	-	+
-	+	-	-	-	-	+	I	乾酪性狹小	II	右3' 左4'	-	+	+	+	+	+	-	+
-	+	-	+	+	-	+	0	正常通過性	III	右10'不出 左3'25''	-	-	+	+	+	+	+	+
-	+	+	+	+	-	+	III	乾酪性狹小	III	右7'不出 左7'	-	+	+	-	+	+	-	+

腎臟ノ結核病變ノ分類(志賀氏=依ル)

- I. 最初期乳頭結核 1個ノ乳頭尖端部=局限性ノ結核病變ヲ呈スルモノ。
- II. 初期崩壊性乳頭結核 1-2個ノ乳頭尖端部ガ輕度=潰瘍性崩壊ヲナセルモノ。
- III. 乾酪性崩壊性乳頭結核 前者ヨリモ病勢進行シテ 數個ノ乳頭尖端部ガ乾酪性=崩壊シ、腎盂モ病變ヲ呈スルモ未ダ大ナル空洞ヲ形成スル=至ラザルモノ。
- IV. 乾酪性空洞性乳頭腎盂結核 病變ガ乳頭ヨリ次第=髓質内=蔓延シ、且ツ融解崩壊シテ大小ノ空洞ヲ形成シ、各空洞間=大小ノ乾酪變性ヲ認ムルモノ。

V. 結核性膿腫腎 病變末期ニシテ空洞變性ハ益々擴大シ髓質ハ大部分侵サレ、相融合シテ多數ノ大ナル空洞トナリ、腎實質ハ皮質ノ周邊ノミニ僅カニ遺殘介在シ腎盂モ擴張シテ、空洞ニハ膿尿多量ニ充滿シテ、腎臟著シク腫大セルモノ。

以上ノ如ク志賀氏及ビ波戸氏ノ分類法ニ依リ摘出腎ヲ檢索シ、コレヲ第11表ニ表示セリ。即チコノ表ヲ通覽スルニ輸尿管ノ病的肥厚ト管腔病變トノ間ニハ密接ナル關係アリ。即チ輸尿管ノ大サ普通大ノ場合ニハ管腔ハ正常通過性ナルモノノ如キモ、鉛筆大、或ハソレ以上ノ病的肥厚ヲ呈セルモノニ於テハ何レモ殆ンド乾酪性狹小ニシテ、結核性擴張コレニ次グ。乾酪性擴張ハ僅カニ1例ニ過ギズ。

摘出結核腎臟病變ト輸尿管内腔病變トノ關係ニ於テハ腎臟結核ノ病變ト輸尿管内腔ノ結核病變トハ大體ニ於テ、ソノ病變進捗度ヲ共ニスルモノノ如シ。摘出結核腎ノ病變ト膀胱結核病變トノ關係ハ必ズシモ一致セズ。腎臟結核ニ高度ナル病變ヲ認メラル、ニモ拘ラズ、膀胱ノ病變コレニ伴ハズ、却テ初期ノ場合尠カラズ。コレニ反シテ腎臟結核病變ノ輕度ニシテ、膀胱病變ノ高度ナルモノアリ。波戸氏ハ初期腎臟結核24例中、初期膀胱結核ハ約半數ニ過ギズシテ、ソノ餘ノ半數ハ中等度、或ハソレ以上ニ病變進捗シテソノ中1例ハ實ニ末期膀胱結核ノ所見ヲ呈セリ。コレニ反シテ末期腎臟結核ニ於テハ結核性膿腫腎、即チV型ノ腎臟結核ノ病變ヲナセルモノモ、ソノ膀胱病變ハ過半數以上ハ初期、又ハ輕度ノ膀胱結核ニシテ腎臟結核ト膀胱結核トハソノ病變進捗度、寧ろ相反セルモノ多キヲ認メタリト稱セリ。即チ膀胱病變ノ程度ヲ以テシテハ腎臟ノ病變程度ヲ推測シ得ザル場合多シト述べ、且ツ斯クノ如キ事實ヲ波戸氏ハ次ノ如ク説明セリ。

腎臟病變初期ノ間ハ腎臟ヨリ排出セラル、結核菌量モ多量ナルガ爲メニ、膀胱ノ結核病變ノ進展モ迅速且ツ廣汎ニ涉レドモ、腎臟結核ノ末期ニ至レバ壞死性崩壊作用急激ニシテ、膿球ハ多量ニ排出セラルレドモ、結核菌量ハ却テ減少スル傾向アリ。コノ事實ハ臨床例ニテモ稍々輕度ナル症例ニ於テ、尿中結核菌ヲ多量ニ證明シコレニ反シ、濃キ膿尿ヲ排出スル重症患者ニ結核菌證明ノ甚ダ困難ナル場合少カラザルニ依ルモ證明セラルベシ。又他面ニ於テハ末期ニ至ルニ從ヒ輸尿管狹小ヲ來シ、或ハ濃厚ナル膿尿ノ爲メ、尿ノ排泄惡ク尿ノ滯溜ヲ來シ、益々腎臟ノ壞死性崩壊作用ヲ助長スル一方菌ノ排出亦減少ヲ來ス。コレ等ノ理由ニテ初期腎臟結核時ニハ尿中結核菌多量ニテ、膀胱病變モ旺盛ニ進捗スレドモ、腎臟病變末期ノモノニテハ、尿中結核菌量ノ比較的輕微ナルガ爲メニ、從テ膀胱病變モ輕度ナルコトモアリ得ベク、或ハ又一旦發生セル膀胱結核モ長時日ノ病狀經過ト尿中結核菌ノ減少ノ爲メニ、ソノ後ニ於テ次第ニ治癒シタルモノト解スベキナリ。勿論一方腎臟病變初期ノモノニ膀胱病變モ輕度ニシテ、腎臟ノ病變進展スルニ伴ヒ、膀胱病變ノ増悪スル場合モアルハ理ノ當然ナレドモ、概シテ腎臟病變ト膀胱ノ結核性病變トハ常ニ一致セズシテ、時ニハ全ク相反スル關係ヲ示スコトアリ。從テ臨床上膀胱病變ノミヲ以テ、直チニ以テ腎臟病變ノ強弱ヲ推測シ得ザルモノナリト稱セリ。

然ルニ佐谷、瀧川氏ハ腎臟病變ト膀胱病變トハ大體ニ於テ相並行スルモ、膀胱疾患ノ既往

症アルモノ及ビ膀胱結核ノ初期ニ於テ治療ヲ誤ラレタルモノニ於テハ膀胱ノ病變比較的高度ナリト報告セリ。

余ノ例ニ於テハ摘出腎ノ病變程度ト膀胱病變ノ進捗度ト比較スルモ、波戸氏ノ説ニ近キ結果ヲ示シ、且ツ又第10表ニ見ル如ク兩側腎臟結核ニシテ相當程度病變ノ進捗セルモノト見做スベキモノニ於テモ、膀胱病變ハII型、III型ヲ示スモノ多キヲ以テモ波戸氏ノ説ヲ裏書スルモノナリト稱スルヲ得ベシ。

#### 14. 總括及ビ結論

著者ハ金澤醫科大學泌尿器科患者中昭和2年ヨリ同11年ニ至ル10ケ年間ノ腎臟結核及ビ膀胱結核患者223名ニ就キコレヲ統計的ニ觀察シテ次ノ結果ヲ得タリ。

1. 腎臟結核患者ハ(全例ニ於テ膀胱結核ヲ有ス)10ケ年間ニ於テ泌尿生殖器患者4056名中ニ223名ヲ得テ、即チ5.4%ヲ示セリ。

2. 腎臟結核患者ハ年齢的ニ於テ21—30年ノ期間ニ最モ多ク45.1%ヲ示シ、次ハ31—40年ニシテ25.5%、コレヨリ年齢ノ増加ト反比例シテ、ソノ比率ハ低下ス。然レモコノ事實ハ先人諸家ノソレト一致セルヲ知ルナリ。

3. 腎臟結核ノ男女性別ノ關係ハ泰西文獻ニ依ルトキハ、男性ハ女性ニ比シテ少キガ如キモ、本邦ニ於ケル統計ニテハ男性ハ女性ニ比シテ何レモ高率ニシテ、余ノ統計ニ於テモ男性ハ82.5%ニシテ、女性ニ比シテ遙カニ大ナル數ヲ現ハセリ。然レドモコノ性別ハ左マデ重大視スベキモノニアラズトセリ。

4. 腎臟結核ノ罹患側ハ一般ニ右側ハ左側ニ比シテ罹患率高ク、先人諸家ノ文獻ニ依ル平均比率ハ右側51.2%、左側46.6%ナリ。然レドモ村山氏ハ右側46.7%、佐谷、瀧川氏ハ右側45.9%ヲ報告シ、余ノ例ニ於テハ斷然右側少クシテ37.6%ナリ。

兩側腎臟結核ノ罹患率ハ志賀氏ハ本症罹患患者ノ約10%ニコレヲ認ムル旨記載セルモ、文獻ニ依ル平均率ハ12.3%ヲ示シ余ノ統計ニテハ26%ノ多數ニコレヲ認メタリ。

Kapsammer氏ノ臨床例ノ35%、Bandel氏ノ28%ニ次イデノ高キ割合ヲ示セリ。然レドモ本症ハ初期ニ於テハ一側ニ發病シ長時日ノ中ニ病勢ノ進展ニ伴ヒ、遂ニ他ノ一側ニ轉移シテ兩側性トナルモノナルガ故ニ、病變ノ進捗セルモノ、或ハ剖檢例ニ於テハソノ率高マルベキナリ。剖檢例ニ依ル平均率ハ63.9%ノ高率ヲ示セリ。然リト雖モ病側罹患率ハ一般ニ臨床上問題視スベキモノニアラズトセラル。

5. 腎臟結核ノ合併症ハ肺臟ソノ他泌尿器系統以外ノ臟器ニ於ケル合併症ニ關スル統計ハ各人ニ依リテ相異スルモ、コレヲ綜合スルニ最モ多キハ肺結核及ビ肋膜炎ナリ。

次ニ泌尿器系ニ於ケル結核性合併症ハ最モ重要視スベキモノニシテ、ソノ患者ノ豫後ニ對シ大ナル影響ヲ有シ、且ツ腎臟結核ノ合併症トシテ最モ屢々來ル所ノモノナリ。先人諸家ノ報告ニ依ルモ何レモ最モ高率ヲ示シ、余ノ例ニテモ男性183例中副辜丸結核ヲ有スルモノ66例ニ36%ニシテ、然レモコノ42.4%ニ兩側副辜丸結核ヲ認メタリ。又攝護腺結核ハ116例ニ6

3.4%ニシテ、本症ニ如何ニ攝護腺ノ侵サル、コトノ多キカラ證明シ諸家ノ報告例ト一致スル事實ヲ明カニセリ。

6. 腎臟結核ノ初期徴候トシテ最モ多キハ排尿時ノ疼痛ニシテ、次ニ血尿、尿意頻數ノ順序ナリ。然レドモコレ等ノ徴候ハ時ニ2個或ハ3個ヲ合併シテ同時ニ發生スルコトアリ。

7. 患者ノ自覺症ヲ知りテヨリ當泌尿器科ヲ訪フマデノ期間ハ、短キハ1週間以內ヨリ長キハ3ケ年ニ及ブモノアルモ、概シテ2—3ケ月間ノモノ最モ多ク、依テ以テ本症ノ如何ニ慢性的ニ經過スルモノナルカラ知ルコトヲ得ルナリ。

追記 本症ノ「ピエログラフイー」ト臨床的症狀トノ關係ニ就テハ第2篇ニ更ラニ記載セムトス。

撰筆ニ臨ミ御懇篤ナル御指導ト御校閲ヲ賜リタル恩師伊藤教授ニ對シ滿腔ノ謝意ヲ表ス。

## 15. 主要文獻

- 1) 朝倉文三, 腎臟結核ニ就テ。附, 腎臟結核摘出91例。日, 泌尿會誌, 第1卷, 第2號, 大正2年。
- 2) 井上剛, 腎臟結核ニ就テ。十全會誌, 第37卷, 第5號, 昭和7年。
- 3) 波戸定吉, 摘出結核腎ノ病理解剖學的研究。日, 泌尿會誌, 第22卷, 第4號, 昭和8年。
- 4) 北川, 岡部, 慶大病院泌尿科ニ於ケル過去滿9年間ノ腎臟結核患者ノ統計的觀察。日, 泌尿會誌, 第19卷, 第4號, 昭和5年。
- 5) 村山五瀨男, 岡山醫大最近10年間ニ於ケル腎臟結核並ニ腎臟結石ノ統計的觀察。日, 泌尿會誌, 第18卷, 第11號, 昭和4年。
- 6) 志賀亮, 腎臟結核ノ綜説。「グレンツゲビート」, 自第3年, 第11號, 至第6年, 第4號, 昭和4年—7年。
- 7) 同人, 泌尿生殖器結核殊ニ腎臟結核ニ就テ。日, 泌尿會誌, 第21卷, 第6, 7號, 昭和7年。
- 8) 高木, 中村, 腎臟摘出後ノ統計的觀察。皮, 泌尿會誌, 第24卷, 大正15年。
- 9) 佐谷, 瀧川, 腎臟結核ノ臨床的觀察。日新醫學, 第20年, 第3, 4, 8, 9號, 昭和5年。
- 10) 渡邊國一, 北大皮膚, 泌尿器科ニ於ケル腎臟結核剔出100例ノ統計的觀察。日, 泌尿會誌, 第19卷, 第8號, 昭和5年。